

10/536668

JP 03/15053

PTO

10 AUG 2003

日本国特許庁  
JAPAN PATENT OFFICE

25.11.03

REC'D 11 DEC 2003

WIPO

PCT

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office.

出願年月日  
Date of Application: 2002年11月27日

出願番号  
Application Number: 特願2002-343721

[ST. 10/C]: [JP 2002-343721]

出願人  
Applicant(s): 日本電気株式会社

BEST AVAILABLE COPY

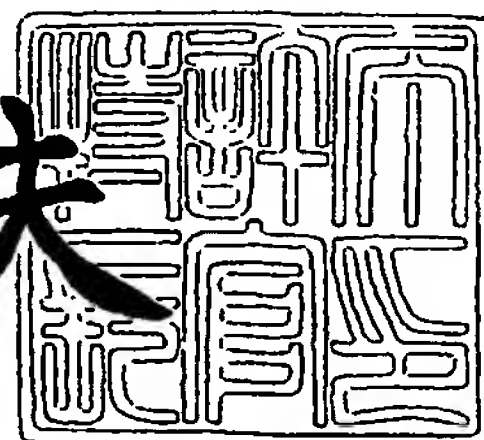
PRIORITY  
DOCUMENT

SUBMITTED OR TRANSMITTED IN  
COMPLIANCE WITH RULE 17.1(a) OR (b)

2003年10月 2日

特許庁長官  
Commissioner,  
Japan Patent Office

今井康夫



出証番号 出証特2003-3081299

【書類名】 特許願

【整理番号】 35001182

【あて先】 特許庁長官殿

【国際特許分類】 G06F 15/00

【発明者】

    【住所又は居所】 東京都港区芝五丁目 7 番 1 号 日本電気株式会社内

    【氏名】 中島 一彰

【特許出願人】

    【識別番号】 000004237

    【氏名又は名称】 日本電気株式会社

【代理人】

    【識別番号】 100079005

    【弁理士】

    【氏名又は名称】 宇高 克己

【手数料の表示】

    【予納台帳番号】 009265

    【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

    【物件名】 明細書 1

    【物件名】 図面 1

    【物件名】 要約書 1

    【包括委任状番号】 9715827

【プルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 リアルタイムウェブ共有システム

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 複数の端末装置間上で閲覧されているウェブページをリアルタイムに共有するシステムであって、

ウェブページの更新を検出する検出スクリプトと、ウェブページを更新する更新スクリプトとを送信する手段と、所定の端末装置から送信されて来た、ウェブページの更新を通知する更新情報を、前記所定の端末装置と同一のウェブページを閲覧している他の端末装置に送信する手段とを有するサーバと、

前記サーバから送信されて来る検出スクリプト及び更新スクリプトを受信する受信手段と、前記受信手段で受信した検出スクリプトに、閲覧しているウェブページの更新を検出させ、更新があった場合に更新結果を通知する更新情報を生成させて前記サーバに送信する手段と、前記受信手段で受信した更新情報に基づいて、更新スクリプトにウェブページを更新させる手段とを有する端末装置とを有することを特徴とするリアルタイムウェブ共有システム。

【請求項 2】 前記サーバは、

前記ウェブページ上に設けられた部品の更新を検出する更新検出スクリプトと、この更新検出スクリプトをウェブページに組み込む為の組込スクリプトと、ウェブページ上に設けられた部品を更新する部品更新スクリプトとを送信する手段と、

所定の端末装置から送信されて来た、ウェブページ上に設けられた部品の更新を通知する部品更新情報を、前記所定の端末装置と同一のウェブページを閲覧している他の端末装置に送信する手段とを有し、

前記端末装置は、

前記サーバから送信されて来るスクリプト及び部品更新情報を受信する手段と、

組込スクリプトに、前記更新検出スクリプトをウェブページに組み込ませ、前記更新検出スクリプトに前記ウェブページ上の部品の更新を検出させ、この更新内容を通知する部品更新情報を生成して前記サーバに送信する手段と、

前記受信した部品更新情報に基づいて、前記部品更新スクリプトにウェブページ上に設けられている部品を更新させる手段と

を有することを特徴とする請求項 1 に記載のリアルタイムウェブ共有システム。

【請求項 3】 前記ウェブページ上に設けられた部品の更新は、

前記ウェブページのスクロール及びリサイズ、又は前記ウェブページ上の入力フォームの値の更新であることを特徴とする請求項 2 に記載のリアルタイムウェブ共有システム。

【請求項 4】 前記サーバは、

前記端末装置を識別する識別情報と、この識別情報の端末装置が送信して来た更新情報及び部品更新情報とを関連付けて記憶する記憶手段と、

前記端末装置の識別情報に、前記更新情報及び部品更新情報を関連付けて前記記憶手段に記憶させる手段と、

所定の端末装置が、前記識別情報を用いてログインして来た場合、前記ログインして来た識別情報と同一の識別情報に関連付けられている更新情報及び部品更新情報を前記記憶手段から読み出す手段と、

前記読み出した更新情報を送信した後に、前記読み出した部品更新情報を前記所定の端末装置に送信する手段と

を有することを特徴とする請求項 2 に記載のリアルタイムウェブ共有システム。

【請求項 5】 前記サーバは、

所定の端末装置から他の端末装置への接続を要求する接続要求を受信すると、前記接続要求を他の端末装置に送信する手段と、

前記他の端末装置から接続要求に応答する旨の通知を受けると、前記所定の端末装置の識別情報に関連付けられている更新情報及び部品更新情報を前記記憶手段から読み出す手段と、

前記読み出した更新情報を送信した後に、前記読み出した部品更新情報を前記所定の端末装置に送信する手段と

を有することを特徴とする請求項 2 又は請求項 4 に記載のリアルタイムウェブ共有システム。

【請求項 6】 前記サーバは、

末装置間のウェブページ上で共有するポインタを表示させる為のタグを組み込み、ポインタの移動位置を取得するポインタ用スクリプトと、ポインタを移動させる移動スクリプトとを送信する手段と、

所定の端末装置から送信されて来た、ウェブページ上にポインタの移動位置を通知する位置情報を、前記所定の端末装置と同一のウェブページを閲覧している他の端末装置に送信する手段とを有し、

前記端末装置は、

前記サーバから送信されて来るポインタ用スクリプト及び位置情報を受信する手段と、

前記ポインタ用スクリプトに、ポインタを共有する為のタグをウェブページに組み込ませ、ポインタの移動した位置を取得し、この取得した位置を通知する位置情報を前記サーバにさせる手段と、

前記受信した位置情報に基づいて、前記移動スクリプトにウェブページ上のポインタを移動させる手段と

を有することを特徴とする請求項1から請求項5のいずれかに記載のリアルタイムウェブ共有システム。

【請求項7】 遠隔地のサーバを介してウェブページをリアルタイムに共有するリアルタイムウェブ共有システムの端末装置であって、

サーバから送信されて来る、ウェブページの更新を検出する検出スクリプト、ウェブページを更新する更新スクリプト及びウェブページの更新を通知する更新情報を受信する手段と、

前記受信した検出スクリプトに、閲覧しているウェブページの更新を検出させ、更新があった場合に更新結果を通知する更新情報を生成させて前記サーバに送信する手段と、

前記受信手段で受信した更新情報に基づいて、更新スクリプトにウェブページを更新させる手段と

を有することを特徴とするリアルタイムウェブ共有システムの端末装置。

【請求項8】 前記端末装置は、

サーバから送信されて来る、前記ウェブページ上に設けられた部品の更新を検



出する更新検出スクリプト、この更新検出スクリプトをウェブページに組み込む為の組込スクリプト及びウェブページ上に設けられた部品を更新する部品更新スクリプトを受信する手段と、

前記受信した組込スクリプトに、前記更新検出スクリプトをウェブページに組み込ませ、前記更新検出スクリプトに前記ウェブページ上の部品の更新を検出させ、この更新内容を通知する部品更新情報を生成して前記サーバに送信する手段と、

前記受信した部品更新情報に基づいて、前記部品更新スクリプトにウェブページ上に設けられている部品を更新させる手段と  
を有することを特徴とする請求項 7 に記載のリアルタイムウェブ共有システムの端末装置。

【請求項 9】 前記ウェブページ上に設けられた部品の更新は、

前記ウェブページのスクロール及びリサイズ、又は前記ウェブページ上の入力フォームの値の更新であることを特徴とする請求項 8 に記載のリアルタイムウェブ共有システムの端末装置。

【請求項 1 0】 前記端末装置は、

前記サーバから送信されて来る、末装置間のウェブページ上で共有するポインタを表示させる為のタグを組み込み、ポインタの移動位置を取得するポインタ用スクリプトと、ポインタを移動させる移動スクリプトと、ウェブページ上にポインタの移動位置を通知する位置情報とを受信する手段と、

前記ポインタ用スクリプトに、ポインタを共有する為のタグをウェブページに組み込ませ、ポインタの移動した位置情報を取得し、この取得した位置情報を前記サーバにさせる手段と、

前記受信した位置情報に基づいて、前記移動スクリプトにウェブページ上のポインタを移動させる手段と  
を有することを特徴とする請求項 8 又は請求項 9 に記載のリアルタイムウェブ共有システムの端末装置。

【請求項 1 1】 複数の端末装置間上で閲覧されているウェブページをリアルタイムに共有するシステムのサーバであって、

所定の端末装置から送信されて来る、ウェブページの更新を通知する更新情報とウェブページ上に設けられた部品の更新を通知する部品更新情報とを受信する手段と、

前記所定の端末装置を識別する識別情報と、前記受信した更新情報及び部品更新情報とを関連付けて記憶する記憶手段と、

前記所定の端末装置の識別情報に、前記更新情報及び部品更新情報を関連付けて前記記憶手段に記憶させる手段と、

他の端末装置が、前記所定の端末装置の識別情報を用いてログインして来た場合、前記ログインして来た識別情報と同一の識別情報に関連付けられている更新情報及び部品更新情報を前記記憶手段から読み出す手段と、

前記読み出した更新情報を送信した後に、前記読み出した部品更新情報を前記他の端末装置に送信する手段と  
を有することを特徴とするリアルタイムウェブ共有システムのサーバ。

【請求項 12】 前記サーバは、

所定の端末装置から他の端末装置への接続を要求する接続要求を受信すると、前記接続要求を他の端末装置に送信する手段と、

前記他の端末装置から接続要求に応答する旨の通知を受けると、前記所定の端末装置の識別情報に関連付けられている更新情報及び部品更新情報を前記記憶手段から読み出す手段と、

前記読み出した更新情報を送信した後に、前記読み出した部品更新情報を前記所定の端末装置に送信する手段と  
を有することを特徴とする請求項 11 に記載のリアルタイムウェブ共有システムのサーバ。

【請求項 13】 サーバを介してウェブページをリアルタイムに共有するリアルタイムウェブ共有システムの端末装置に、

自端末装置上のウェブページの更新を検出させる機能と、

自端末装置上のウェブページの更新を検出すると、この更新結果を遠隔地にあるサーバに通知する更新情報を生成させる機能と、

前記サーバから送信されて来た更新情報に基づいて、自端末装置上のウェブペ

ージを更新させる機能を実現させることを特徴とするプログラム。

【請求項 14】 前記プログラムは、

ウェブページ上に設けられた部品の更新を検出する検出機能を前記ウェブページに組み込む機能と、

前記検出機能が前記ウェブページ上に設けられた部品の更新を検出すると、この更新内容を通知する部品更新情報を生成して前記サーバに送信する機能と、

前記サーバから送信されて来た部品更新情報に基づいて、自端末装置のウェブページ上に設けられた部品を更新する機能を実現させることを特徴とする請求項 13 に記載のプログラム。

【請求項 15】 前記プログラムは、

末装置間のウェブページ上で共有する為のポインタを表示させる為のタグを前記ウェブページに組み込む機能と、

前記ウェブページのポインタが移動すると、ポインタの移動した位置情報を取得して前記サーバに通知する機能と、

前記サーバから通知された位置情報に基づいて、前記ウェブページ上のポインタを移動させる機能を実現させることを特徴とする請求項 13 又は請求項 14 に記載のプログラム。

【請求項 16】 既存のブラウザを用いて複数の端末装置間でウェブページをリアルタイムに共有する方法であって、

共有対象のウェブページと制御用のウェブページとをフレーム分割又は親子関係にあるブラウザで表示して連携させ、制御用のフレーム内のスクリプトが共有ページのアドレスの変更を検知し、このタイミングで制御用のフレームから共有用のフレームに対して、共有用のイベントをフックする為のフック関数と共有対象を指定する為の識別情報とを割り当て、前記共有用のイベントが発生した場合、発生したイベントを通知する通知情報を生成してサーバを介して他の端末装置のブラウザに通知し、同一の識別情報の目標にクックされた関数を動作させる関数を起動させることで、ブラウザの表示部分及びコンテンツの書き換えモジュールを改造せず、ウェブページに予め改造せずにウェブページをリアルタイムに共有することを特徴とするリアルタイムウェブ共有方法。



【請求項 17】 遠隔地のサーバを介して第 1 の端末装置と第 2 の端末装置とで閲覧するウェブページをリアルタイムに共有する方法であって、

前記サーバにおいて、ウェブページの更新を検出する検出スクリプトを第 1 の端末装置に送信し、ウェブページを更新する更新スクリプトを前記第 2 の端末装置に送信するステップと、

前記第 1 の端末装置において、前記サーバから送信されて来た検出スクリプトを受信し、この受信した検出スクリプトにウェブページの更新を検出させるステップと、

前記第 2 の端末装置において、前記サーバから送信されて来た更新スクリプトを受信するステップと、

前記第 1 の端末装置において、前記検出スクリプトがウェブページの更新を検出すると、この更新結果を通知する更新情報を生成して前記サーバに送信するステップと、

前記サーバにおいて、第 1 の端末装置から送信されて来た更新情報を第 2 の端末装置に送信するステップと、

前記第 2 の端末装置において、前記サーバから送信されて来た更新情報に基づいて、前記受信した更新スクリプトにウェブページの更新をさせるステップとを有することを特徴とするリアルタイムウェブ共有方法。

【請求項 18】 前記リアルタイムウェブ共有方法は、

前記サーバにおいて、ウェブページ上に設けられた部品の更新を検出する更新検出スクリプトと、この更新検出スクリプトをウェブページに組み込む組込スクリプトとを第 1 の端末装置に送信し、ウェブページを更新する更新スクリプトを第 2 の端末装置に送信するステップと、

前記第 1 の端末装置において、前記サーバから送信されて来る検出スクリプト及び組込スクリプトを受信するステップと、

前記第 2 の端末装置において、前記サーバから送信されて来る更新スクリプトを受信するステップと、

前記第 1 の端末装置において、前記受信した組込スクリプトに前記更新検出スクリプトを前記ウェブページに組み込むステップと、

前記第1の端末装置において、更新検出スクリプトが前記ウェブページ上に設けられた部品の更新を検出すると、この更新内容を通知する部品更新情報を生成してサーバに送信するステップと、

前記サーバにおいて、前記第1の端末装置から送信されて来た部品更新情報を第2の端末装置に送信するステップと、

前記第2の端末装置において、前記サーバから送信されて来た部品更新情報に基づいて、前記受信した更新スクリプトにウェブページ上に設けられた部品を更新させるステップと

を有することを特徴とする請求項17に記載のリアルタイムウェブ共有方法。

【請求項19】 リアルタイムウェブ共有方法は、

第3の端末装置を更に用いて、

前記サーバにおいて、前記第1の端末装置の識別情報に、前記受信した更新情報及び部品更新情報を関連付けて記憶するステップと、

前記第3の端末装置において、前記第1の端末装置の識別情報と同一の識別情報で前記サーバにログインするステップと、

前記サーバにおいて、前記ログインして来た識別情報と同一の識別情報に関連付けられている更新情報及び部品更新情報を読み出すステップと、

前記サーバにおいて、前記読み出した更新情報を送信した後、前記読み出した部品更新情報を送信するステップと、

前記第3の端末装置において、前記サーバから送信されて来た更新情報及び部品更新情報に基づいて、ウェブページを更新した後にウェブページ上の部品を更新するステップと

を有することを特徴とする請求項18に記載のリアルタイムウェブ共有方法。

【請求項20】 リアルタイムウェブ共有方法は、

前記第1の端末装置において、前記第2の端末装置を呼び出す為の接続ボタンが押下されたことを検出するステップと、

前記第1の端末装置において、前記接続ボタンの押下が検出されると、前記第2の端末装置との接続要求を前記サーバに通知するステップと、

前記サーバにおいて、前記第1の端末装置から接続要求の通知を受けると、こ

の通知を第2の端末装置に送信するステップと、

前記第2の端末装置において、前記サーバから接続要求の通知を受けると、この接続要求に応答する為の応答ボタンを押下可能にし、前記応答ボタンが押下されたことを検出するステップと、

前記第2の端末装置において、前記応答ボタンが押下されたことが検出されると、接続要求に応答する旨の通知を前記サーバにするステップと、

前記サーバにおいて、前記第2の端末装置から接続要求に応答する旨の通知を受けると、前記第1の端末装置の識別情報に関連付けられている更新情報及び部品更新情報を読み出すステップと、

前記サーバにおいて、前記読み出した更新情報を送信した後に前記読み出した部品更新情報を送信するステップと、

前記第2の端末装置において、前記サーバから送信されて来た更新情報及び部品更新情報に基づいて、ウェブページを更新した後にウェブページ上の部品を更新するステップと

を有することを特徴とする請求項17から請求項19のいずれかに記載のリアルタイムウェブ共有方法。

【請求項21】 リアルタイムウェブ共有方法は、

前記サーバにおいて、端末装置間のウェブページ上で共有するポインタを表示させる為のタグを組み込み、ポインタの移動位置を取得するポインタ用スクリプトと、ポインタを移動させる移動スクリプトとを送信するステップと、

前記第1の端末装置において、前記サーバから送信されて来るポインタ用スクリプトを受信するステップと、

前記第2の端末装置において、前記サーバから送信されて来る移動スクリプトを受信するステップと、

前記第1の端末装置において、前記受信したポインタ用スクリプトに、両端末装置間で共有するポインタのタグを前記ウェブページに組み込むステップと、

前記第1の端末装置において、前記ポインタ用スクリプトが、前記ポインタの移動位置を取得し、この取得した位置情報を前記サーバに送信するステップと、

前記サーバにおいて、前記第1の端末装置から送信されて来た位置情報を前記

第2の端末装置に転送するステップと、

前記第2の端末装置において、前記サーバから送信されて来た位置情報に基づいて、前記移動スクリプトに前記ウェブページ上に表示されているポインタを移動させるステップと

を有することを特徴とする請求項17から請求項20のいずれかに記載のリアルタイムウェブ共有方法。

#### 【発明の詳細な説明】

##### 【0001】

#### 【発明が属する技術分野】

本発明は、複数の端末装置に表示されているWebページをリアルタイムに共有して、顧客の行なう操作をオペレータが代行するシステムに関し、特に既存のWebブラウザの描画エンジンやWebコンテンツを改造せずにリアルタイムにWebページを共有するリアルタイムウェブ共有システムに関する。

##### 【0002】

#### 【従来技術】

従来、リアルタイムにWebページを共有する方法として、画面を共有する方法がある（例えば、非特許文献1）。この方法は、自己と相手との端末装置上に特殊な環境を用意し、この環境上で自己と相手との端末装置に同一のWeb画面を表示させる。これにより、Webページをリアルタイムに情報を共有する。

##### 【0003】

また、リアルタイムにWebページを共有する方法として、専用の共有ブラウザを利用する方法がある（例えば、非特許文献2）。この方法は、自己と相手との端末装置上に専用ブラウザを動作させる為の特殊な環境を用意し、この環境上で自己と相手との専用ブラウザに同一のWebページを表示させる。これにより、自己と相手との端末装置上に表示されているWebページがリアルタイムに共有できる（例えば、特許文献1参照）。

##### 【0004】

また、既存のブラウザを使用してリアルタイムにWebページを共有する方法として、コンテンツをカスタマイズして共有を可能にする方法がある（例えば、

非特許文献3)。この方法は、顧客の端末装置に表示されるWebページと、オペレータの端末装置に表示されるWebページとをリアルタイムに同期させる為の通信手段を、コンテンツのスクリプトに組み込み。更に、顧客の端末装置におけるWebページ上の入力フォームに入力された情報と、同一の情報をオペレータの端末装置におけるWebページ上の入力フォームに表示させる（入力データを共有する）為、コンテンツに入力データを共有する為のスクリプトを組み込む。

#### 【0005】

更に、ブラウザにロードされるWebページに、このページの変化を検出するページマネージャを組み込み、端末間でWebページの共有を行なうものがある（例えば、特許文献2参照）。

#### 【0006】

##### 【特許文献1】

特開平11-120134号公報

##### 【特許文献2】

特開2000-215173号公報

##### 【非特許文献1】

”WebExミーティング・センタ”、[online]、[平成14年11月21日検索]、インターネット<URL:http://www.webex.com>

##### 【非特許文献2】

”ウェブコーディネート”、[online]、[平成14年11月21日検索]、インターネット<URL:http://www.fjh.fujitsu.com/webcd/merit.html>

##### 【非特許文献3】

”リアルタイムコミュニケーションシステム”、[online]、[平成14年11月21日検索]、インターネット<URL: http://www.necsoft.com/solution/conce ntpro/>

#### 【0007】

##### 【発明が解決しようとする課題】

しかしながら、専用のWeb画面や専用のブラウザを使用する方法では、手軽



に Web ページの共有を行なうことができない問題点がある。

また、コンテンツをカスタマイズして共有を可能にする方法は、コンテンツの作り込みが必要となり、従来の Web のサービスと、共有用 Web のサービスを別々に設ける必要がある。この結果、コンテンツの作り込みにコスト（開発コスト）がかかり、コンテンツのサービスのリリースにも時間がかかる問題点がある。また、コンテンツを通常のサービス用のコンテンツと共有サービス用のコンテンツの分ける作業を行わなければならない通サービスの開始がスムーズにいかない問題点がある。

更に、従来のサービスをそのまま適用する場合には、レスポンス性能が比較的悪い画面共有ツールか、専用ブラウザを使用しなければならない問題がある。

また、通常の Web 上のサービスを利用している顧客が、サービスの内容について相談した時や問い合わせしたい時等、サービス提供側のオペレータを呼び出したい場合、予め顧客とオペレータとが画面共有ツール又は専用のブラウザで情報の共有を行なう必要がある為、顧客に複雑な操作を強いるという問題点がある。

更に、特許文献 2 のものは、ページマネージャが静的に設定されている為、共有の対象となるフォームの更新を検出し、この更新結果を他の端末装置のフォームに反映させるまで時間がかかる問題点がある。

#### 【 0 0 0 8 】

従って、本発明が解決しようとする課題は、コンテンツの作り込みを必要とせずに、従来のブラウザのユーザインタフェースを変更するだけでリアルタイムに Web ページの共有を実現する技術を提供することである。

#### 【 0 0 0 9 】

##### 【課題を解決するための手段】

上記課題を解決する第 1 の発明は、複数の端末装置間上で閲覧されているウェブページをリアルタイムに共有するシステムであって、

ウェブページの更新を検出する検出スクリプトと、ウェブページを更新する更新スクリプトとを送信する手段と、所定の端末装置から送信されて来た、ウェブページの更新を通知する更新情報を、前記所定の端末装置と同一のウェブページ

を閲覧している他の端末装置に送信する手段とを有するサーバと、

前記サーバから送信されて来る検出スクリプト及び更新スクリプトを受信する受信手段と、前記受信手段で受信した検出スクリプトに、閲覧しているウェブページの更新を検出させ、更新があった場合に更新結果を通知する更新情報を生成させて前記サーバに送信する手段と、前記受信手段で受信した更新情報に基づいて、更新スクリプトにウェブページを更新させる手段とを有する端末装置とを有することを特徴とする。

#### 【0010】

上記課題を解決する第2の発明は、上記第1の発明において、前記サーバは、前記ウェブページ上に設けられた部品の更新を検出する更新検出スクリプトと、この更新検出スクリプトをウェブページに組み込む為の組込スクリプトと、ウェブページ上に設けられた部品を更新する部品更新スクリプトとを送信する手段と、

所定の端末装置から送信されて来た、ウェブページ上に設けられた部品の更新を通知する部品更新情報を、前記所定の端末装置と同一のウェブページを閲覧している他の端末装置に送信する手段とを有し、

前記端末装置は、

前記サーバから送信されて来るスクリプト及び部品更新情報を受信する手段と、

組込スクリプトに、前記更新検出スクリプトをウェブページに組み込ませ、前記更新検出スクリプトに前記ウェブページ上の部品の更新を検出させ、この更新内容を通知する部品更新情報を生成して前記サーバに送信する手段と、

前記受信した部品更新情報に基づいて、前記部品更新スクリプトにウェブページ上に設けられている部品を更新させる手段とを有することを特徴とする。

#### 【0011】

上記課題を解決する第3の発明は、上記第2の発明において、前記ウェブページ上に設けられた部品の更新は、

前記ウェブページのスクロール及びリサイズ、又は前記ウェブページ上の入力フォームの値の更新であることを特徴とする。

## 【0012】

上記課題を解決する第4の発明は、上記第2の発明において、前記サーバは、  
前記端末装置を識別する識別情報と、この識別情報の端末装置が送信して来た更新情報及び部品更新情報とを関連付けて記憶する記憶手段と、

前記端末装置の識別情報に、前記更新情報及び部品更新情報を関連付けて前記記憶手段に記憶させる手段と、

所定の端末装置が、前記識別情報を用いてログインして来た場合、前記ログインして来た識別情報と同一の識別情報に関連付けられている更新情報及び部品更新情報を前記記憶手段から読み出す手段と、

前記読み出した更新情報を送信した後に、前記読み出した部品更新情報を前記所定の端末装置に送信する手段とを有することを特徴とする。

## 【0013】

上記課題を解決する第5の発明は、上記第2又は第4の発明において、前記サーバは、

所定の端末装置から他の端末装置への接続を要求する接続要求を受信すると、前記接続要求を他の端末装置に送信する手段と、

前記他の端末装置から接続要求に応答する旨の通知を受けると、前記所定の端末装置の識別情報に関連付けられている更新情報及び部品更新情報を前記記憶手段から読み出す手段と、

前記読み出した更新情報を送信した後に、前記読み出した部品更新情報を前記所定の端末装置に送信する手段とを有することを特徴とする。

## 【0014】

上記課題を解決する第6の発明は、上記第1から第5の発明において、前記サーバは、

末装置間のウェブページ上で共有するポインタを表示させる為のタグを組み込み、ポインタの移動位置を取得するポインタ用スクリプトと、ポインタを移動させる移動スクリプトとを送信する手段と、

所定の端末装置から送信されて来た、ウェブページ上にポインタの移動位置を通知する位置情報を、前記所定の端末装置と同一のウェブページを閲覧している

他の端末装置に送信する手段とを有し、

前記端末装置は、

前記サーバから送信されて来るポインタ用スクリプト及び位置情報を受信する手段と、

前記ポインタ用スクリプトに、ポインタを共有する為のタグをウェブページに組み込ませ、ポインタの移動した位置を取得し、この取得した位置を通知する位置情報を前記サーバにさせる手段と、

前記受信した位置情報に基づいて、前記移動スクリプトにウェブページ上のポインタを移動させる手段とを有することを特徴とする。

#### 【0015】

上記課題を解決する第7の発明は、遠隔地のサーバを介してウェブページをリアルタイムに共有するリアルタイムウェブ共有システムの端末装置であって、

サーバから送信されて来る、ウェブページの更新を検出する検出スクリプト、ウェブページを更新する更新スクリプト及びウェブページの更新を通知する更新情報を受信する手段と、

前記受信した検出スクリプトに、閲覧しているウェブページの更新を検出させ、更新があった場合に更新結果を通知する更新情報を生成させて前記サーバに送信する手段と、

前記受信手段で受信した更新情報に基づいて、更新スクリプトにウェブページを更新させる手段と  
を有することを特徴とする。

#### 【0016】

上記課題を解決する第8の発明は、上記第7の発明において、前記端末装置は

サーバから送信されて来る、前記ウェブページ上に設けられた部品の更新を検出する更新検出スクリプト、この更新検出スクリプトをウェブページに組み込む為の組込スクリプト及びウェブページ上に設けられた部品を更新する部品更新スクリプトを受信する手段と、

前記受信した組込スクリプトに、前記更新検出スクリプトをウェブページに組



み込ませ、前記更新検出スクリプトに前記ウェブページ上の部品の更新を検出させ、この更新内容を通知する部品更新情報を生成して前記サーバに送信する手段と、

前記受信した部品更新情報に基づいて、前記部品更新スクリプトにウェブページ上に設けられている部品を更新させる手段とを有することを特徴とする。

#### 【0017】

上記課題を解決する第9の発明は、上記第8の発明において、前記ウェブページ上に設けられた部品の更新は、前記ウェブページのスクロール及びリサイズ、又は前記ウェブページ上の入力フォームの値の更新であることを特徴とする。

#### 【0018】

上記課題を解決する第10の発明は、上記第8又は第9の発明において、前記端末装置は、

前記サーバから送信されて来る、末装置間のウェブページ上で共有するポインタを表示させる為のタグを組み込み、ポインタの移動位置を取得するポインタ用スクリプトと、ポインタを移動させる移動スクリプトと、ウェブページ上にポインタの移動位置を通知する位置情報とを受信する手段と、

前記ポインタ用スクリプトに、ポインタを共有する為のタグをウェブページに組み込ませ、ポインタの移動した位置情報を取得し、この取得した位置情報を前記サーバにさせる手段と、

前記受信した位置情報に基づいて、前記移動スクリプトにウェブページ上のポインタを移動させる手段とを有することを特徴とする。

#### 【0019】

上記課題を解決する第11の発明は、複数の端末装置間上で閲覧されているウェブページをリアルタイムに共有するシステムのサーバであって、

所定の端末装置から送信されて来る、ウェブページの更新を通知する更新情報とウェブページ上に設けられた部品の更新を通知する部品更新情報とを受信する手段と、



前記所定の端末装置を識別する識別情報と、前記受信した更新情報及び部品更新情報とを関連付けて記憶する記憶手段と、

前記所定の端末装置の識別情報に、前記更新情報及び部品更新情報を関連付けて前記記憶手段に記憶させる手段と、

他の端末装置が、前記所定の端末装置の識別情報を用いてログインして来た場合、前記ログインして来た識別情報と同一の識別情報に関連付けられている更新情報及び部品更新情報を前記記憶手段から読み出す手段と、

前記読み出した更新情報を送信した後に、前記読み出した部品更新情報を前記他の端末装置に送信する手段とを有することを特徴とする。

#### 【0020】

上記課題を解決する第12の発明は、上記第11の発明において、前記サーバは、

所定の端末装置から他の端末装置への接続を要求する接続要求を受信すると、前記接続要求を他の端末装置に送信する手段と、

前記他の端末装置から接続要求に応答する旨の通知を受けると、前記所定の端末装置の識別情報に関連付けられている更新情報及び部品更新情報を前記記憶手段から読み出す手段と、

前記読み出した更新情報を送信した後に、前記読み出した部品更新情報を前記所定の端末装置に送信する手段とを有することを特徴とする。

#### 【0021】

上記課題を解決する第13の発明は、サーバを介してウェブページをリアルタイムに共有するリアルタイムウェブ共有システムの端末装置に、

自端末装置上のウェブページの更新を検出させる機能と、

自端末装置上のウェブページの更新を検出すると、この更新結果を遠隔地にあるサーバに通知する更新情報を生成させる機能と、

前記サーバから送信されて来た更新情報に基づいて、自端末装置上のウェブページを更新させる機能を実現させることを特徴とするプログラム。

#### 【0022】

上記課題を解決する第14の発明は、上記第13の発明において、前記プログ

ラムは、

ウェブページ上に設けられた部品の更新を検出する検出機能を前記ウェブページに組み込む機能と、

前記検出機能が前記ウェブページ上に設けられた部品の更新を検出すると、この更新内容を通知する部品更新情報を生成して前記サーバに送信する機能と、

前記サーバから送信されて来た部品更新情報に基づいて、自端末装置のウェブページ上に設けられた部品を更新する機能を実現させることを特徴とする。

### 【 0 0 2 3 】

上記課題を解決する第 1 5 の発明は、上記第 1 3 又は第 1 4 の発明において、前記プログラムは、

末装置間のウェブページ上で共有する為のポインタを表示させる為のタグを前記ウェブページに組み込む機能と、

前記ウェブページのポインタが移動すると、ポインタの移動した位置情報を取得して前記サーバに通知する機能と、

前記サーバから通知された位置情報に基づいて、前記ウェブページ上のポインタを移動させる機能を実現させることを特徴とする。

### 【 0 0 2 4 】

上記課題を解決する第 1 6 の発明は、既存のブラウザを用いて複数の端末装置間でウェブページをリアルタイムに共有する方法であって、

共有対象のウェブページと制御用のウェブページとをフレーム分割又は親子関係にあるブラウザで表示して連携させ、制御用のフレーム内のスクリプトが共有ページのアドレスの変更を検知し、このタイミングで制御用のフレームから共有用のフレームに対して、共有用のイベントをフックする為のフック関数と共有対象を指定する為の識別情報とを割り当て、前記共有用のイベントが発生した場合、発生したイベントを通知する通知情報を生成してサーバを介して他の端末装置のブラウザに通知し、同一の識別情報の目標にクックされた関数を動作させる関数を起動させることで、ブラウザの表示部分及びコンテンツの書き換えモジュールを改造せず、ウェブページに予め改造せずにウェブページをリアルタイムに共有することを特徴とする。

## 【0025】

上記課題を解決する第17の発明は、遠隔地のサーバを介して第1の端末装置と第2の端末装置とで閲覧するウェブページをリアルタイムに共有する方法であって、

前記サーバにおいて、ウェブページの更新を検出する検出スクリプトを第1の端末装置に送信し、ウェブページを更新する更新スクリプトを前記第2の端末装置に送信するステップと、

前記第1の端末装置において、前記サーバから送信されて来た検出スクリプトを受信し、この受信した検出スクリプトにウェブページの更新を検出させるステップと、

前記第2の端末装置において、前記サーバから送信されて来た更新スクリプトを受信するステップと、

前記第1の端末装置において、前記検出スクリプトがウェブページの更新を検出すると、この更新結果を通知する更新情報を生成して前記サーバに送信するステップと、

前記サーバにおいて、第1の端末装置から送信されて来た更新情報を第2の端末装置に送信するステップと、

前記第2の端末装置において、前記サーバから送信されて来た更新情報に基づいて、前記受信した更新スクリプトにウェブページの更新をさせるステップとを有することを特徴とする。

## 【0026】

上記課題を解決する第18の発明は、上記第17の発明において、前記リアルタイムウェブ共有方法は、

前記サーバにおいて、ウェブページ上に設けられた部品の更新を検出する更新検出スクリプトと、この更新検出スクリプトをウェブページに組み込む組込スクリプトとを第1の端末装置に送信し、ウェブページを更新する更新スクリプトを第2の端末装置に送信するステップと、

前記第1の端末装置において、前記サーバから送信されて来る検出スクリプト及び組込スクリプトを受信するステップと、

前記第2の端末装置において、前期サーバから送信されて来る更新スクリプトを受信するステップと、

前記第1の端末装置において、前記受信した組込スクリプトに前記更新検出スクリプトを前記ウェブページに組み込むステップと、

前記第1の端末装置において、更新検出スクリプトが前記ウェブページ上に設けられた部品の更新を検出すると、この更新内容を通知する部品更新情報を生成してサーバに送信するステップと、

前記サーバにおいて、前記第1の端末装置から送信されて来た部品更新情報を第2の端末装置に送信するステップと、

前記第2の端末装置において、前記サーバから送信されて来た部品更新情報に基づいて、前記受信した更新スクリプトにウェブページ上に設けられた部品を更新させるステップとを有することを特徴とする。

#### 【0027】

上記課題を解決する第19の発明は、上記第18の発明において、リアルタイムウェブ共有方法は、

第3の端末装置を更に用いて、

前記サーバにおいて、前記第1の端末装置の識別情報に、前記受信した更新情報及び部品更新情報を関連付けて記憶するステップと、

前記第3の端末装置において、前記第1の端末装置の識別情報と同一の識別情報で前記サーバにログインするステップと、

前記サーバにおいて、前記ログインして来た識別情報と同一の識別情報に関連付けられている更新情報及び部品更新情報を読み出すステップと、

前記サーバにおいて、前記読み出した更新情報を送信した後、前記読み出した部品更新情報を送信するステップと、

前記第3の端末装置において、前記サーバから送信されて来た更新情報及び部品更新情報に基づいて、ウェブページを更新した後にウェブページ上の部品を更新するステップとを有することを特徴とする。

#### 【0028】

上記課題を解決する第20の発明は、上記第17から第19のいずれかの発明



において、リアルタイムウェブ共有方法は、

前記第 1 の端末装置において、前記第 2 の端末装置を呼び出す為の接続ボタンが押下されたことを検出するステップと、

前記第 1 の端末装置において、前記接続ボタンの押下が検出されると、前記第 2 の端末装置との接続要求を前記サーバに通知するステップと、

前記サーバにおいて、前記第 1 の端末装置から接続要求の通知を受けると、この通知を第 2 の端末装置に送信するステップと、

前記第 2 の端末装置において、前記サーバから接続要求の通知を受けると、この接続要求に応答する為の応答ボタンを押下可能にし、前記応答ボタンが押下されたことを検出するステップと、

前記第 2 の端末装置において、前記応答ボタンが押下されたことが検出されると、接続要求に応答する旨の通知を前記サーバにするステップと、

前記サーバにおいて、前記第 2 の端末装置から接続要求に応答する旨の通知を受けると、前記第 1 の端末装置の識別情報に関連付けられている更新情報及び部品更新情報を読み出すステップと、

前記サーバにおいて、前記読み出した更新情報を送信した後に前記読み出した部品更新情報を送信するステップと、

前記第 2 の端末装置において、前記サーバから送信されて来た更新情報及び部品更新情報に基づいて、ウェブページを更新した後にウェブページ上の部品を更新するステップとを有することを特徴とする。

#### 【0029】

上記課題を解決する第 21 の発明において、上記第 17 から第 20 のいずれかの発明において、リアルタイムウェブ共有方法は、

前記サーバにおいて、端末装置間のウェブページ上で共有するポイントを表示させる為のタグを組み込み、ポイントの移動位置を取得するポイント用スクリプトと、ポイントを移動させる移動スクリプトとを送信するステップと、

前記第 1 の端末装置において、前記サーバから送信されて来るポイント用スクリプトを受信するステップと、

前記第 2 の端末装置において、前記サーバから送信されて来る移動スクリプト



を受信するステップと、

前記第1の端末装置において、前記受信したポインタ用スクリプトに、両端末装置間で共有するポインタのタグを前記ウェブページに組み込むステップと、

前記第1の端末装置において、前記ポインタ用スクリプトが、前記ポインタの移動位置を取得し、この取得した位置情報を前記サーバに送信するステップと、

前記サーバにおいて、前記第1の端末装置から送信されて来た位置情報を前記第2の端末装置に転送するステップと、

前記第2の端末装置において、前記サーバから送信されて来た位置情報に基づいて、前記移動スクリプトに前記ウェブページ上に表示されているポインタを移動させるステップとを有することを特徴とする。

### 【0030】

#### 【発明の実施の形態】

図1はリアルタイムWeb共有システムのブロック図である。図2はプッシュ共有サーバのブロック図である。図3は差分通知コマンドの構成を説明する為の図である。

### 【0031】

本発明のリアルタイムWeb共有システムは、Webサーバ1100、プッシュ共有サーバ2100、HTTPコンテンツが記憶されている第1の記憶部1130、及び制御スクリプトが記憶されている第2の記憶部1140から成るサーバ群1100と、オペレータ用端末装置1210、1220と、一般家庭や出張所等に設置されている顧客用端末装置1230、1240とを有する。尚、サーバ群1100、オペレータ用端末装置1210、1220、及び顧客用端末装置1230、1240は、電気通信回線（例えば、インターネット）によって接続されている。

### 【0032】

Webサーバ1100は、通常のWebでのサービス等を提供するものであり、顧客用端末装置1230、1240又はオペレータ用端末装置1210、1220からアクセスされると、記憶部1130に記憶されているHTTPコンテンツを送信するものである。また、記憶部1140に記憶されているプログラム（

制御スクリプト) を顧客用端末装置 1 2 3 0, 1 2 4 0 又はオペレータ用端末装置 1 2 1 0, 1 2 2 0 に送信する。この W e b サーバ 1 1 0 0 から H T T P コンテンツが送信されることにより、顧客用端末装置 1 2 3 0, 1 2 4 0 又はオペレータ用端末装置 1 2 1 0, 1 2 2 0 の画面に W e b ページが表示される。

#### 【 0 0 3 3 】

プッシュ共有サーバ 2 1 0 0 は、オペレータ用端末装置 1 2 1 0, 1 2 2 0 と顧客用端末装置 1 2 3 0, 1 2 4 0 との間における W e b ページ等のデータの共有制御を行うものであり、顧客通信部 2 1 1 0、代行通信部 2 1 2 0、顧客管理部 2 1 3 0、オペレータ管理通信部 2 1 4 0、振分部 2 1 5 0、及び記憶部 2 1 6 0 を有する。

#### 【 0 0 3 4 】

顧客通信部 2 1 1 0 は、顧客用端末装置 1 2 3 0, 1 2 4 0 との間の通信を行うものであり、顧客管理部 2 1 3 0 からの差分通知コマンドを顧客用端末装置 1 2 3 0, 1 2 4 0 に送信する。この差分通知コマンドにより顧客用端末装置 1 2 3 0, 1 2 4 0 のブラウザが制御され、ブラウザに表示されている顧客 W e b ページ 2 2 0 0 が更新される。

#### 【 0 0 3 5 】

尚、差分通知コマンドは、図 3 に示す通り、キー 4 1 1 0、属性 4 1 2 0、呼出関数・引数 4 1 3 0 から成る。

#### 【 0 0 3 6 】

キー 4 1 1 0 のフィールドには、フレーム名が記載される。このようにフレーム名が記載されることで、変更された箇所をフレーム単位で特定でき、W e b ページの変更箇所を効率良く特定することができる。また、キー 4 1 1 0 は階層的に表現されている。例えば、図 3 の 4 1 1 2 に示されている通り、“ / ” で階層を示す。例えば、トップページのフレーム名が“ A ”、このフレーム“ A ” に部品 (例えば、入力フォーム、スクロールバー、ウインドのサイズ、ボタン等) “ B ” あった場合、キーは、“ フレーム A / B ” と表現される。このように、階層的に表現することで、特定のフレームに関連する部品等を容易に特定することができる。また、階層的に表現することで、トップ階層のフレームが更新された場

合（W e b ページ全体の U R L が更新された場合）、このトップ階層のフレーム名が記載されているキーを含む差分通知コマンドを容易に削除することができる。

#### 【 0 0 3 7 】

また、フレームが入れ子状態になっている場合、図 3 の 4 1 1 3 に示す通り、入れ子状態の深さを” / ” の数で表現する。すなわち、” / ” の数が増えるほど、階層が深くなる。更に、キー 4 1 1 0 は、記憶部 2 1 6 0 に記憶されている同一のキーを持った差分通知コマンドを上書き（更新）する為の目印としても用いられる。これにより、同一のキーを含む差分通知コマンドは、最新のものが記憶部 2 1 6 0 に記憶されることになる。

#### 【 0 0 3 8 】

属性 4 1 2 0 のフィールドには、差分通知コマンドを他の端末装置に送信するか、又は自己にも再送を依頼（ローカルエコー）するか否かを示す値が記述される。例えば、属性 4 1 2 0 が” 1 ” の場合、差分通知コマンドを他の端末装置に送信することを表す。

#### 【 0 0 3 9 】

呼出関数・引数 4 1 3 0 のフィールドには、相手の端末装置に実行させる関数や引数が記述される。

#### 【 0 0 4 0 】

更に、顧客通信部 2 1 1 0 は、顧客用端末装置 1 2 3 0， 1 2 4 0 から差分通知コマンドを受信すると、この受信した差分通知コマンドを顧客管理部 2 1 3 0 に送信する。

#### 【 0 0 4 1 】

代行通信部 2 1 2 0 は、オペレータ用端末装置 1 2 1 0， 1 2 2 0 との間で通信を行い、オペレータ用端末装置 1 2 1 0， 1 2 2 0 から送信されて来る差分通知コマンドを顧客管理部 2 1 3 0 に送信するものである。また、顧客管理部 2 1 3 0 から送信されて来た差分通知コマンドをオペレータ用端末装置 1 2 1 0， 1 2 2 0 に送信する。

#### 【 0 0 4 2 】

顧客管理部 2 1 3 0 は、顧客通信部 2 1 1 0 及び代行通信部 2 1 2 0 からの差分通知コマンドを受信すると、この差分通知コマンドと、差分通知コマンドを送信して来た端末装置に割り当てられている I D（例えば、ユーザ I D、ユーザ名）とを関連付けて記憶部 2 1 6 0 に記憶する。更に、受信した差分通信コマンドを送信して来た通信部とは別の通信部に転送するものである。例えば、顧客通信部 2 1 1 0 から差分通知コマンドが送信されて来た場合、顧客管理部 2 1 3 0 は、この差分通知コマンドを代行通信部 2 1 2 0 に転送する。

#### 【 0 0 4 3 】

また、顧客管理部 2 1 3 0 は、差分通知コマンドを送信して来た端末装置に割り当てられている I D と、差分通知コマンドの転送先の端末装置に割り当てられている I D とを関連付けて記憶部 2 1 6 0 に記憶する。このように、端末装置に割り当てられている I D を関連付けることで、現在、W e b ページが共有関係にある端末装置を特定することができる。

#### 【 0 0 4 4 】

更に、顧客管理部 2 1 3 0 は、顧客用端末装置 1 2 3 0， 1 2 4 0 からオペレータ用端末装置 1 2 1 0， 1 2 2 0 への接続要求を検出すると、振分部 2 1 5 0 にオペレータ用端末装置の振り分けを依頼する。

#### 【 0 0 4 5 】

オペレータ管理通信部 2 1 4 0 は、オペレータ用端末装置 1 2 1 0， 1 2 2 0 と通信を行なうものである。振分部 2 1 5 0 から所定のオペレータ用端末装置に接続するよう依頼を受けると、依頼先のオペレータ用端末装置に顧客用端末装置から接続依頼があったことを通知するものである。

#### 【 0 0 4 6 】

振分部 2 1 5 0 は、顧客管理部 2 1 3 0 からオペレータ端末装置の振り分けの依頼を受けると、現在、顧客端末装置と未接続のオペレータ用端末装置を検索する。また、検索できたオペレータ用端末装置に、オペレータ管理通信部 2 1 4 0 を介して顧客端末装置から接続依頼があることを通知する。更に、振分部 2 1 5 0 は、オペレータ用端末装置から接続依頼に応答する通知を受けると、依頼要求のあった顧客用端末装置に割り当てられている I D をオペレータ管理通信部を介

してオペレータ用端末装置に送信する。このIDを受取ったオペレータ用端末装置は、受取ったIDでプッシュ共有サーバ2100の代行通信部2120を介してログインする。

#### 【0047】

記憶部2160は、顧客用端末装置のIDと、顧客用端末装置又はオペレータ用端末装置から送信されて来た差分通知コマンドが関連付けて記憶されている。尚、顧客用端末装置のIDと関連付けられている差分通知コマンドは、上述したように階層的に顧客用端末装置のIDと関連付けられている。

#### 【0048】

オペレータ用端末装置1210、1220は、図1に示す如く、オペレータWebページ2300を表示するものである。

#### 【0049】

オペレータWebページ2300は、顧客用端末装置1210、1220からの接続要求に応答する為の応答ボタン2310、コンテンツフレーム2320、制御フレーム2330、オペレータ操作フレーム2340から成るものである。

#### 【0050】

応答ボタン2310は、プッシュ共有サーバ2100から接続依頼があると、アクティブになり押下可能となるものである。この応答ボタン2310が押下されると、接続依頼に応答する旨の通知がプッシュ共有サーバ2100に送信される。

#### 【0051】

コンテンツフレーム2320には、Webサーバ1100から提供されるWebページが表示され、本発明のリアルタイムWeb共有の対象となるWebページが表示される。

#### 【0052】

制御フレーム2330には、コンテンツフレーム2320に表示されているWebページを操作する為の命令入力欄や選択ボタン等が表示され、また後述するWebページを共有する為のモジュールが組み込まれている。

#### 【0053】



オペレータ操作フレーム 2340 は、プッシュ共有サーバ 2100 を介して顧客用端末装置 1230, 1240 からの接続要求があった場合、制御フレーム 2330 を生成し、オペレータから切断要求を受けた場合、制御フレーム 2330 を削除する等、オペレータが Web ページを共有する為の操作を行なう為のものである。

#### 【0054】

顧客用端末装置 1230, 1240 は、図 1 に示す如く、顧客 Web ページ 200 を表示するものである。

#### 【0055】

顧客 Web ページ 2200 は、オペレータ用端末装置 1210, 1230 に接続する為の接続ボタン 2240、コンテンツフレーム 2210、制御フレーム 2230 から成る。

#### 【0056】

コンテンツフレーム 2210 は、Web サーバ 1100 から提供される Web ページが表示される。

#### 【0057】

制御フレーム 2230 は、コンテンツフレーム 2210 に表示されている Web ページを操作する為の命令入力欄や選択ボタン等が表示され、また後述する Web ページを共有する為のモジュールが組み込まれている。尚、コンテンツフレーム 2210 及び制御フレーム 2230 には、オペレータ用端末装置 1210, 1220 のコンテンツフレーム 2320 及び制御フレーム 2330 と同様の内容が表示される。

#### 【0058】

次に、各端末装置の制御フレームに組み込まれているモジュールについて図 4 及び図 5 を用いて具体的に説明する。

#### 【0059】

図 4 は顧客用端末装置の制御フレームに組み込まれているモジュールを説明する為の図である。図 5 はオペレータ用端末装置の制御フレームに組み込まれているモジュールを説明する為の図である。図 6 は差分通知コマンドの生成関数を説

明する為の図である。図7は登録関数を説明する為の図である。図8は差分通知コマンドの実行関数を説明する為の図である。

#### 【0060】

尚、オペレータ用端末装置1210、1220と顧客用端末装置1230、1240との制御フレームに組み込まれているモジュールは同一であることから、以下の説明では、各制御フレームに組み込まれているモジュールを同時に説明する。また、各モジュールは、デジタル信号処理プロセッサ（CPU）により動作する。

#### 【0061】

コンテンツ更新監視モジュール2410、2510は、定期的に端末装置上のコンテンツフレーム2210、2320に表示されているWebページのURLをチェックするものである。そして、URLに更新があったことを検出すると、後述する各モジュール2430、2440、2450、2460、2480を起動し、検出したURLのフレーム名を差分通知コマンド4100のキーのフィールドに記載して通信モジュール2420、2520を介してプッシュ共有サーバ2100に送信する。

#### 【0062】

また、コンテンツ更新監視モジュール2410、2510は、プッシュ共有サーバ2100から差分通知コマンドを受信すると、受信した差分通知コマンドのキーに基づいて、共有関係にある端末装置のコンテンツフレームで表示されているフレーム名を取得する。この取得したフレーム名に基づいて、コンテンツフレーム2210、2320のURLを書き換える。このようにして、端末装置間でWebページが同期する。

#### 【0063】

ところで、顧客用端末装置1230のコンテンツ更新監視モジュール2410とオペレータ用端末装置1210のコンテンツ更新監視モジュール2510とから同時に差分通知コマンドがプッシュ共有サーバ2100に送信された場合、両端末装置は、プッシュ共有サーバ2100から送信されて来る差分通知コマンドに基づいて、自端末装置のコンテンツフレームのURLを書き換える。この結果

、両端末装置のコンテンツ更新監視モジュール 2 4 1 0, 2 5 1 0 は、再度、U R L の更新があったことを検出し、この検出結果を記載した差分通知コマンドをプッシュ共有サーバ 2 1 0 0 に送信するという、いわゆる、「ピンポン」現象が発生する。このピンポン現象を防止する為、プッシュ共有サーバ 2 1 0 0 では、直前に各端末装置に送信した差分通知コマンドは、再度、通知しないという処理を行なう。この処理は、差分通知コマンド 4 1 0 0 に含まれている属性 4 1 0 0 を指定することによって行なう。例えば、両端末装置からの差分通知コマンドに記述されている属性の値が” 1 ”である場合、すなわち、共有関係にある端末装置に差分通知コマンドを送信するよう指示する値である場合、プッシュ共有サーバ 2 1 0 0 の顧客管理部 2 1 3 0 は、両端末装置に差分通知コマンドを送信した後、差分通知コマンドの属性の値を” 0 ”にし、再度、同一の差分通知コマンドを通知しないようにする。

#### 【 0 0 6 4 】

入力フォーム共有スクリプト追加モジュール 2 4 3 0, 2 5 3 0 は、端末装置間で共有している W e b ページ内の入力フォームを表すタグを検出し、このタグを検出すると入力フォームにキーを割り当てると共に、入力フォームの種類に応じた入力用イベント関数をコンテンツフレーム 2 2 1 0, 2 3 2 0 のスクリプトに追加するものである。尚、入力用イベント関数は、入力フォームで変更された値（顧客が入力フォームに記述した内容等）を取得する為の関数である。また、入力用イベント関数は、取得した値を差分通知コマンドの呼出関数・引数のフィールドに挿入し、この取得した値を挿入した差分通知コマンドを通信モジュール 2 4 2 0, 2 5 2 0 に送信させる為の関数でもある。この入力用イベント関数により、差分通知コマンドが顧客用端末装置から共有関係にあるオペレータ用端末装置に送信される。

#### 【 0 0 6 5 】

また、入力フォーム共有スクリプト追加モジュール 2 4 3 0, 2 5 3 0 は、プッシュ共有サーバ 2 1 0 0 から送信されて来た差分通知コマンドを受信すると、差分通知コマンドの呼出関数・引数における入力フォームの値を取得し、コンテンツフレーム 2 2 1 0, 2 3 2 0 の入力フォームの値を更新する。このようにし

て、各端末装置間で入力フォームの文字等が同期できる。

#### 【0066】

Web操作同期スクリプト追加モジュール2440, 2540は、コンテンツフレーム2210, 2320上でのスクロールやリサイズ等のWeb操作が行なわれたことを示すイベントを検出する検出用イベント関数をコンテンツフレーム2210, 2320のスクリプトに追加する。この検出用イベント関数は、イベントを検出すると、検出したイベントの内容を差分通知コマンドに挿入して通信モジュール2420, 2520に送信させる。

#### 【0067】

また、Web操作同期スクリプト追加モジュール2440, 2540は、プッシュ共有サーバ2100から差分通知コマンドを受信すると、この受信した差分通知コマンドから検出用イベント関数で検出された内容来判断してコンテンツフレーム2210, 2320上のスクロールバーをスクロールさせ、又はウィンドサイズをリサイズして、共有関係にある端末装置のコンテンツフレームと同期させる。

#### 【0068】

イベント同期スクリプト通知モジュール2450, 2550は、コンテンツフレーム2210, 2320のHTMLデータに含まれている駆動型イベントを検索し、検索した駆動型イベントの駆動を検出すると、この駆動型イベントの駆動内容を他の端末装置に通知する為の通知関数をコンテンツフレーム2210, 2320のスクリプトに追加するものである。尚、通知関数は、既にコンテンツフレームのスクリプトに記述されているイベント駆動型の関数より前に挿入される。

#### 【0069】

また、イベント同期スクリプト通知モジュール2450, 2550は、通知関数で検出した駆動型イベントの駆動内容を差分通知コマンドに挿入して通知モジュール2420, 2520に送信させる。

#### 【0070】

更に、イベント同期スクリプト通知モジュール2450, 2550は、プッシュ

ユ共有サーバ2 1 0 0から差分通知コマンドを受信すると、この受信した差分通知コマンドに基づいて、共有関係にある端末装置で駆動された駆動型イベントと同一の駆動型イベントを駆動する。このようにして、各端末装置間でWebページの同調が取れる。

#### 【0 0 7 1】

ところで、例えば顧客用端末装置1 2 3 0のコンテンツフレーム2 2 1 0で駆動型イベントが駆動された場合、上述したように通知関数により駆動型イベントが駆動したことを顧客用端末装置1 2 3 0と共有関係にあるオペレータ用端末装置1 2 1 0に通知される。この結果、オペレータ用端末装置1 2 1 0では、顧客用端末装置1 2 3 0のコンテンツ2 2 1 0で駆動された駆動型イベントと同一の駆動型イベントが駆動される。しかしながら、この駆動型イベントの駆動により、オペレータ用端末装置1 2 1 0のコンテンツフレーム2 3 2 0に追加されている通知関数も駆動型イベントの駆動を検出し、この検出結果を差分通知コマンドによりプッシュ共有サーバ2 1 0 0に通知するというピンポン現象が、ここでも発生する。そこで、イベント同期スクリプト通知モジュール2 4 5 0, 2 5 5 0は、自端末装置と共有関係にある端末装置から駆動型イベントの駆動の通知を受けた場合、自端末装置におけるコンテンツフレームに追加されている通知関数を起動しないようにする。

#### 【0 0 7 2】

URL遷移監視スクリプト追加モジュール2 4 6 0, 2 5 6 0は、FROMのサブミットによるページ遷移やアンカータグのクリックによるページ遷移を監視する監視用イベント関数をコンテンツフレーム2 2 1 0, 2 3 2 0のスクリプトに追加するものである。また、監視用イベント関数によりページ遷移を検出すると、この検出結果を通知する為の差分通知コマンドを生成する。尚、差分通知コマンドは、差分通知コマンドの生成関数(OnSharePost)により生成される。例えば、図6に示すが如く、キーを”UrlPus”、属性を”1(他の端末装置に送信)”、呼出関数・引数を”コマンド実行関数DoSharePost(tagId)”とした差分通知コマンド”EVAL”を生成する。

#### 【0 0 7 3】



また、URL 遷移監視スクリプト追加モジュール 2 4 6 0, 2 5 6 0 は、生成した差分通知コマンド生成関数をフック関数として登録する登録関数をコンテンツフレーム 2 2 1 0, 2 3 2 0 のスクリプトに追加する。尚、登録関数 (Change Submit) は、図 7 に示す如く、差分通知コマンドの生成関数 (OnSharePost) を呼び出す関数を生成する。また、この生成関数が生成されていない場合には、差分通知コマンド生成関数をイベントフック関数としてコンテンツフレーム 2 2 1 0, 2 3 2 0 のスクリプトに追加する関数である。

#### 【 0 0 7 4 】

また、URL 遷移監視スクリプト追加モジュール 2 4 6 0, 2 5 6 0 は、生成した差分通知コマンドを通信モジュール 2 4 2 0, 2 5 2 0 に送信させる。

#### 【 0 0 7 5 】

更に、URL 遷移監視スクリプト追加モジュール 2 4 6 0, 2 5 6 0 は、プッシュ共有サーバ 2 1 0 0 から差分通知コマンドを受信すると、通知関数の呼出を停止させた後、顧客用端末装置 1 2 3 0 で駆動された FROM サブミット又はアンカータグと同一の FROM サブミット又はアンカータグのイベントを駆動する為のイベント関数を呼び出す。これにより、顧客用端末装置 1 2 3 0 とオペレータ用端末装置 1 2 1 0 との同期が取れる。

#### 【 0 0 7 6 】

尚、URL 遷移監視スクリプト追加モジュール 2 4 6 0, 2 5 6 0 は、FROM サブミット又はアンカータグのイベントを駆動する為のイベント関数を呼び出す際、コンテンツ更新監視モジュール 2 4 1 0, 2 5 1 0 で URL の更新を検知しないよう一時的に更新検出を停止させる。このようにするのは、URL の更新をコンテンツ更新監視モジュール 2 4 1 0, 2 5 1 0 が検出してしまうのを防止する為である。すなわち、ピンポン現象の防止の為である。例えば、図 8 に示す如く、URL 遷移監視スクリプト追加モジュール 2 4 6 0, 2 5 6 0 が差分通知コマンド実行関数 (DoSharePost) を呼び出した場合、差分通知コマンド実行関数は、URL の更新検出を停止する "bStopFlag" を立てた後、共有関係にある端末装置で検出された FROM サブミットと同一の FROM サブミットを実行する。これにより、ピンポン現象を防止する。

## 【0077】

リンク先書換モジュール2480、2580は、コンテンツフレームにおけるWebページのURLの遷移指定がフレーム全体の遷移指定として指定されてしまった場合、コンテンツフレームの遷移指定して書き換えるものである。このリンク先書換モジュール2480、2580により、フレーム全体の更新を防止することができる。

続いて、上記構成における動作について、図9を用いて説明する。

## 【0078】

図9は顧客がオペレータを呼び出す動作を説明する為のフローチャートである。

## 【0079】

尚、以下の説明では、オペレータ用端末装置1210と顧客用端末装置1230とでWebページの共有を行うものとして説明する。

## 【0080】

顧客は、自己の有するユーザIDで顧客用端末装置1230からプッシュサーバ2100にログインする。このログインによりプッシュサーバ2100は、Webサーバ1100に制御フレームやコンテンツフレームのSCRIPT等を送信させる。この結果、顧客用端末装置1230上には、制御フレームとコンテンツフレームから成る顧客Webページ2200が表示される。

## 【0081】

同様に、オペレータも、自己の有するユーザIDでオペレータ用端末装置1210からプッシュ共有サーバ2100にログインする。このログインによりプッシュサーバ2100は、Webサーバ1100にオペレータ用操作フレームのSCRIPT等を送信させる。この結果、オペレータ用端末装置上には、オペレータ用操作フレームが表示される。

## 【0082】

ここで、プッシュ共有サーバ2100にログインした顧客は、顧客用端末装置1230に表示されている顧客Webページ2200を閲覧し、自由にブラウジングを行なっている（ステップ 3010）。このとき、閲覧している顧客Web

b ページの内容について相談や問い合わせ等がない場合、顧客は、そのまま W e b ページの閲覧を終了する（ステップ 3 1 1 0）。

#### 【 0 0 8 3 】

一方、閲覧したい顧客 W e b ページの内容について相談や問い合わせ等がある場合、顧客は顧客用端末装置 1 2 3 0 における顧客 W e b ページ 2 2 0 0 の接続ボタン 2 2 4 0 を押下する。これにより、顧客用端末装置 1 2 3 0 はオペレータ用端末装置への接続要求をプッシュ共有サーバ 2 1 0 0 に送信する（ステップ 3 0 2 0）。

#### 【 0 0 8 4 】

その後、顧客用端末装置 1 2 3 0 では、入力フォーム共有スクリプト追加モジュール 2 4 3 0 が顧客用端末装置 1 2 3 0 とオペレータ用端末装置 1 2 1 0 との間で共有対象となるフォームのタグを検出する。この検出したタグにキーを割り当てると共に、フォームの種類に応じた入力用イベント関数をコンテンツフレーム 2 2 1 0 のスクリプトに追加する。また、W e b 操作同期スクリプト追加モジュール 2 4 4 0 は、コンテンツフレーム 2 2 1 0 上で操作されたスクロールやリサイズのイベントを検出する検出用イベント関数を追加する。更に、イベント同期スクリプト通知モジュール 2 4 5 0 は通知関数を、U R L 遷移監視スクリプト追加モジュール 2 4 6 0 は監視用イベント関数を追加する。このようにして、顧客用端末装置 1 2 3 0 とオペレータ用端末装置 1 2 1 0 とで W e b ページ等を共有する為の関数（入力用イベント関数、検出用イベント関数、監視用イベント関数）を追加する（ステップ 3 0 3 0）。

#### 【 0 0 8 5 】

そして、顧客用端末装置 1 2 3 0 は、コンテンツフレーム 2 2 1 0 のスクリプトに追加した各関数で検出された検出結果を差分通知コマンドに挿入し、この検出結果の挿入した差分通知コマンドをプッシュ共有サーバ 2 1 0 0 に送信する。

#### 【 0 0 8 6 】

顧客用端末装置 1 2 3 0 から差分通知コマンドを受信したプッシュ共有サーバ 2 1 0 0 では、顧客管理部 2 1 3 0 が受信した差分通知コマンドと、顧客用端末装置 1 2 3 0 のユーザ I D と関連付けて記憶部 2 1 6 0 に記憶する。

## 【 0 0 8 7 】

一方、顧客用端末装置 1 2 3 0 から接続要求を受信したプッシュ共有サーバ 2 1 0 0 の顧客管理部 2 1 3 0 は、振分部 2 1 5 0 にオペレータ端末装置の振分を依頼する。この依頼を受けた振分部 2 1 5 0 は、待機中のオペレータ用端末装置 1 2 1 0 に、顧客用端末装置 1 2 3 0 から接続要求があることを通知する。

## 【 0 0 8 8 】

プッシュ共有サーバ 2 1 0 0 から接続要求の通知を受けたオペレータ用端末装置 1 2 1 0 は、オペレータ Web ページ 2 3 0 0 上の応答ボタン 2 3 1 0 を押下可能状態にして、オペレーターに接続依頼に応答するよう促す。

## 【 0 0 8 9 】

オペレータが接続依頼に応答する為、オペレータ Web ページ 2 3 0 0 上の応答ボタン 2 3 1 0 を押下すると、オペレータ用端末装置 1 2 1 0 は応答ボタン 2 3 1 0 が押下されたことをプッシュ共有サーバ 2 1 0 0 に通知する（ステップ 3 0 4 0）。この通知を受けたプッシュ共有サーバ 2 1 0 0 では、振分部 2 1 5 0 が接続依頼のあった顧客用端末装置 1 2 3 0 のユーザ ID をオペレータ用端末装置 1 2 1 0 に送信する。

## 【 0 0 9 0 】

プッシュ共有サーバ 2 1 0 0 からユーザ ID を受信したオペレータ用端末装置 1 2 1 0 では、オペレータが受信したユーザ ID と同一のユーザ ID でプッシュ共有サーバ 2 1 0 0 にログインする（ステップ 3 0 5 0）。

## 【 0 0 9 1 】

更に、プッシュ共有サーバ 2 1 0 0 の顧客管理部 2 1 3 0 は、オペレータ用端末装置 1 2 1 0 からのユーザ ID と同一のユーザ ID と関連付けられている差分通知コマンドを記憶部 2 1 6 0 から検索し、検索した差分通知コマンドをオペレータ用端末装置 1 2 1 0 に送信する。

## 【 0 0 9 2 】

プッシュ共有サーバ 2 1 0 0 から差分通知コマンドを受信したオペレータ用端末装置 1 2 1 0 は、差分通知コマンドに基づいて、コンテンツフレーム 2 3 2 0 に Web ページを表示させる（ステップ 3 0 6 0）。これにより、顧客用端末

装置 1230 のコンテンツフレーム 2210 とオペレータ用端末装置 1210 のコンテンツフレーム 2320 とに表示される Web ページが同期する。

#### 【0093】

更に、オペレータ用端末装置 1230 は、コンテンツフレーム 2320 の Web ページが更新されると、入力フォーム共有スクリプト追加モジュール 2530 が顧客用端末装置 1230 とオペレータ用端末装置 1210 との間で共有対象となるフォームのタグを検出してタグにキーを割り当てると共に、フォームの種類に応じたイベント関数をコンテンツフレーム 2320 のスクリプトに追加する。また、Web 操作同期スクリプト追加モジュール 2540 は、コンテンツフレーム 2320 上で操作されたスクロールやリサイズのイベントを検出するイベント関数を追加する。更に、イベント同期スクリプト通知モジュール 2550 は通知関数を、URL 遷移監視スクリプト追加モジュール 2560 は監視用イベント関数を追加する（以下、共有スクリプトという）。このように、オペレータ用端末装置 1210 のコンテンツフレーム 2320 のスクリプトにも、Web ページを共有する為の共有スクリプトが組み込まれている。

#### 【0094】

ここで、顧客により顧客用端末装置 1230 におけるコンテンツフレーム 2210 の Web ページの URL が更新された場合、顧客用端末装置 1230 では、更新されたコンテンツフレーム 2210 のスクリプトに、共有スクリプトを設定する（ステップ 3070）。そして、コンテンツ更新監視モジュール 2410 が URL の更新を検出すると、検出した URL のフレーム名を差分通知コマンドのキーのフィールドに記述してプッシュ共有サーバ 2100 に送信する。

#### 【0095】

顧客用端末装置 1230 から差分通知コマンドを受信したプッシュ共有サーバ 2100 では、顧客管理部 2130 が受信した差分通知コマンドと顧客用端末装置 1230 のユーザ ID と関連付けて記憶部 2160 に記憶し、更に受信した差分通知コマンドをオペレータ用端末装置 2130 に送信する。

#### 【0096】

プッシュ共有サーバ 2100 から差分通知コマンドを受信したオペレータ用端



末装置 1 2 1 0 は、受信した差分通知コマンドのキーのフィールドに記述されているフレーム名に従って、コンテンツフレーム 2 3 2 0 上の URL を書き換える（ステップ 3 0 8 0）。このようにして、顧客用端末装置 1 2 3 0 のコンテンツフレーム 2 2 1 0 とオペレータ用端末装置 1 2 1 0 のコンテンツフレーム 2 3 2 1 0 に表示されている Web ページが同期する。

#### 【0 0 9 7】

更に、オペレータ用端末装置 1 2 1 0 は、更新されたコンテンツフレーム 2 3 2 0 のスクリプトに共有スクリプトを追加する。このように、顧客用端末装置 1 2 3 0 又はオペレータ用端末装置 1 2 1 0 の Web ページが更新される毎に、コンテンツフレーム 2 2 1 0 及びコンテンツフレーム 2 3 2 0 のスクリプトに共有スクリプトが追加される。

#### 【0 0 9 8】

その後、再び、顧客用端末装置 1 2 3 0 上のコンテンツフレーム 2 2 1 0 の Web ページに遷移があった場合（ステップ 3 0 3 9）、ステップ 3 0 6 0 ～ステップ 3 0 8 0 の動作を繰り返す。

#### 【0 0 9 9】

ところで、顧客がオペレータ用端末装置 1 2 1 0 との接続を解除したい場合、顧客は顧客用端末装置 1 2 3 0 の顧客 Web ページ上にある接続ボタン 2 2 4 0 を再度押下する。この結果、顧客用端末装置 1 2 3 0 は、接続ボタン 2 2 4 0 が押下されたことをプッシュ共有サーバに通知する。この通知を受けたプッシュ共有サーバ 2 1 0 0 では、顧客管理部 2 1 3 0 が顧客用端末装置 1 2 3 0 から切断要求があったことをオペレータ用端末装置 1 2 1 0 に通知する。

#### 【0 1 0 0】

プッシュ共有サーバ 2 1 0 0 から切断要求の通知を受けたオペレータ用端末装置 1 2 1 0 は、顧客用端末装置 1 2 3 0 との通信を切断し、コンテンツフレーム 2 3 2 0 に表示されている Web ページを消去する（ステップ 3 1 0 0）。

#### 【0 1 0 1】

次に、顧客用端末装置 1 2 3 0 とオペレータ用端末装置 1 2 1 0 とが Web ページを共有中、顧客が顧客用端末装置 1 2 3 0 のコンテンツフレーム 2 2 1 0 上

でアクションを起こした場合について図 1 0 を用いて説明する。

#### 【0 1 0 2】

図 1 0 は W e b の共有を実行中の動作を説明する為のフローチャートである。

#### 【0 1 0 3】

顧客が顧客用端末装置 1 2 3 0 におけるコンテンツフレーム 2 2 1 0 上で何らかのアクションを起こした場合（駆動型イベントを駆動させた場合）、顧客用端末装置 1 2 3 0 では、上述した各モジュール 2 4 3 0, 2 4 4 0, 2 4 5 0, 2 4 6 0 により追加された関数（イベント関数、通知関数）が起動される。例えば、顧客がコンテンツフレーム 2 2 1 0 上の入力フォームで文字を入力した場合、入力フォーム共有スクリプト追加モジュール 2 4 3 0 により追加された入力用イベント関数が起動し、この入力用イベント関数が入力フォームに入力された文字を取得する。

#### 【0 1 0 4】

そして、起動された関数が顧客のアクションの内容を検出すると、検出した内容等を挿入した差分通知コマンドを生成する。例えば、顧客がコンテンツフレーム 2 2 1 0 の入力フォーム A に文字を入力した場合、起動された関数は、入力フォーム A をキーフィールドに記述し、入力された文字を呼出関数・引数フィールドに記述する。更に、差分通知コマンドをオペレータ用端末装置に送信するよう指示する値” 1 ”を属性フィールドに記述して差分通知コマンドを生成する（ステップ 3 2 0 2）。

#### 【0 1 0 5】

更に、顧客用端末装置 1 2 3 0 は、生成した差分通知コマンドをプッシュ共有サーバ 2 1 0 0 に送信する（ステップ 3 2 0 3）。

#### 【0 1 0 6】

顧客用端末装置 1 2 3 0 から差分通知コマンドを受信したプッシュ共有サーバ 2 1 0 0 では、顧客管理部 2 1 3 0 が受信した差分通知コマンドのキーフィールドに記述されているキーと同一のキーを含んだ差分通知コマンドが記憶部 2 1 6 0 に記憶されているか否かを調べる。

#### 【0 1 0 7】

同一のキーを含んだ差分通知コマンドが記憶部されていない場合、顧客管理部 2 1 3 0 は、顧客用端末装置 1 2 3 0 のユーザ ID と受信した差分通知コマンドとを関連付けて記憶部 2 1 6 0 に記憶する（ステップ 3 2 0 4）。

#### 【0 1 0 8】

一方、同一のキーを含んだ差分通知コマンドが記憶されていた場合、顧客管理部 2 1 3 0 は、既存の差分通知コマンドを新たな差分通知コマンドに更新する（ステップ 3 2 0 5）。

#### 【0 1 0 9】

更に、顧客管理部 2 1 3 0 は、受信した差分通知コマンドを代行通信部 2 1 2 0 を介してオペレータ用端末装置 1 2 1 0 に送信する（ステップ 3 2 0 6）。

#### 【0 1 1 0】

プッシュ共有サーバ 2 1 0 0 から差分通知コマンドを受信したオペレータ用端末装置 1 2 1 0 では、イベント同期スクリプト追加モジュール 2 5 5 0 や URL 遷移監視スクリプト追加モジュール 2 5 6 0 が、コンテンツフレーム 2 3 2 0 のスクリプトに追加した通知関数やイベント関数を起動しないように設定する。このようにするのは、上述したピンポン現象を防止する為である。

#### 【0 1 1 1】

そして、受信した差分通知コマンドに記述されているフレーム名、呼出関数・引数に基づいてイベントを駆動し、顧客用端末装置 1 2 3 0 のコンテンツフレーム 2 2 1 0 とオペレータ用端末装置 1 2 3 0 のコンテンツフレーム 2 3 2 0 との内容を同一にする。例えば、受信した差分通知フレームのキーフィールドに入力フォーム A と記載され、呼出関数・引数フィールドに文字が記述されていた場合、コンテンツフレーム 2 3 2 0 上の入力フォーム A に文字が入力される（ステップ 3 2 0 8）。

#### 【0 1 1 2】

更に、イベント同期スクリプト追加モジュール 2 5 5 0 や URL 遷移監視スクリプト追加モジュール 2 5 6 0 は、通知関数やイベント関数を起動しないようにした設定を解除する（ステップ 3 2 0 9）。このようすることで、再度、各端末装置のコンテンツフレーム上でイベントが発生した場合でも、そのイベントを

検出することができる。

#### 【0113】

続いて、顧客用端末装置1230とオペレータ用端末装置1210とで共有される画面の推移を図11～図18を用いて説明する。

#### 【0114】

図11は画面の遷移を表す図である。図12～図18は顧客用端末装置又はオペレータ用端末装置の画面イメージの図である。

#### 【0115】

顧客用端末装置1230上には、図12に示す如く、通常の実行画面が表示されている（ステップ 100）。尚、”オペレータ呼出し2240”が接続ボタン2240に相当する。

#### 【0116】

一方、オペレータ用端末装置1210上には、図13に示す如く、待機画面が表示されている（ステップ 200）。尚、”送信待ち2310”が応答ボタン2310に相当する。また、顧客用端末装置と接続されていない間は、コンテンツフレーム2320や制御フレーム2330は表示されない。

#### 【0117】

ここで、顧客がオペレータを呼び出す場合、顧客は顧客用端末装置1230の画面に表示されているオペレータ呼出し（接続ボタン）2240のボタンを押下する。これにより、顧客端末装置1230の画面は、図14に示すが如く、プッシュ共有サーバ2100からの応答待ち画面となる（ステップ 300）。

#### 【0118】

そして、顧客用端末装置1230は、顧客によりオペレータ呼出し（応答ボタン）2240のボタンが押下されたこと検出すると、接続要求をプッシュ共有サーバ2100を介してオペレータ用端末装置1210に通知する。

#### 【0119】

顧客用端末装置1230から接続要求の通知を受けたオペレータ用端末装置1210は、図15に示すが如く、応答ボタン2310を着信中に変化させる。すなわち、オペレーターに接続依頼に応答するよう促す（ステップ 400）。

**【 0 1 2 0 】**

オペレータが接続依頼に応答する為、オペレータ Web ページ 2 3 0 0 上の応答ボタン 2 3 1 0 を押下する。

**【 0 1 2 1 】**

これにより、プッシュ共有サーバ 2 1 0 0 から顧客用端末装置のユーザ ID が送信される。この送信されたユーザ ID を用いて、プッシュ共有サーバ 2 1 0 0 にログインする。この結果、オペレータ用端末装置 1 2 1 0 のコンテンツフレーム 2 3 2 0 には、図 1 6 に示すが如く、図 1 4 で示した顧客用端末装置 1 2 3 0 のコンテンツフレーム 2 2 1 0 に表示された Web ページと同じ Web ページが表示される。尚、この時点で、制御フレーム 2 3 4 0 も表示される（ステップ 5 0 0）。

**【 0 1 2 2 】**

更に、プッシュ共有サーバ 2 1 0 0 から送信されて来る差分通知コマンドに基づいて、図 1 7 及び図 1 8 に示すが如く、オペレータ用端末装置 1 2 1 0 のコンテンツフレーム 2 3 2 0 と顧客用端末装置 1 2 3 0 のコンテンツフレーム 2 2 1 0 とに表示されるスクロールバー等の位置等が共有される（ステップ 6 0 0、7 0 0）。

**【 0 1 2 3 】**

第 2 の実施の形態について説明する。

**【 0 1 2 4 】**

第 1 の実施の形態では、顧客用端末装置とオペレータ用端末装置とが一对一で接続されている場合について説明した。

**【 0 1 2 5 】**

しかし、オペレータ用端末装置を操作するオペレータが顧客からの相談や問い合わせに答えられない場合や複数のオペレータと相談したい場合には、顧客用端末装置とオペレータ用端末装置とが一对一でしか接続できないとすると非常に不便である。

**【 0 1 2 6 】**

そこで、第 2 の実施の形態では、複数のオペレータ用端末装置と顧客用端末装



置とが接続できるようにすることを特徴とする。

【0127】

以下、第2の実施の形態を具体的に説明する。

【0128】

尚、第1の実施の形態のプッシュ共有サーバと同様な構成については同じ符号を付し、詳細な説明は省略する。

【0129】

顧客管理部2130は、第1の実施の形態で説明した顧客管理部2130の機能に加え、顧客通信部2110及び代行通信部2120から送信され来る差分通知コマンドを受信すると、この受信した差分通知コマンドと、この差分通知コマンドを送信して来た端末装置のID（例えば、ユーザID）とを関連付けて記憶部2160に記憶する。尚、差分通知コマンドは時系列に記憶される。

【0130】

また、顧客管理部2130は、既にオペレータ用端末装置と顧客用端末装置が通信中に、新たなオペレータ用端末装置が通信に加わった場合、記憶部2160に記憶されている差分通知コマンドを時系列順（ユーザIDに関連つけられた順）に読出し、この読出した順に差分通知コマンドを新たに加わったオペレータ用端末装置に送信する。これにより、新たに加わったオペレータ用端末装置においても、既に通信中の顧客用端末装置上のWebページと同期が取れる。

【0131】

続いて、上記構成における動作について図19を用いて説明する。

【0132】

図19は新たなオペレータが加わる場合の動作を説明する為のフローチャートである。

【0133】

尚、以下の説明では、既に顧客用端末装置1230とオペレータ用端末装置1210とが通信中であるものとして説明する。

【0134】

オペレータ用端末装置1210のオペレータAが、別のオペレータBを更に参

加させた場合、オペレータ A は、オペレータ用顧客端末装置 1 2 1 0 からオペレータ B を呼び出す。この呼び出しを検出したオペレータ用端末装置 1 2 1 0 は、プッシュ共有サーバ 2 1 0 0 に、オペレータの呼出通知を送信する。

#### 【 0 1 3 5 】

オペレータ用端末装置 1 2 1 0 からオペレータの呼出通知を受信したプッシュ共有サーバ 2 1 0 0 では、振分部 2 1 5 0 が待機中のオペレータ用端末装置 1 2 2 0 に、顧客用端末装置 1 2 3 0 のユーザ ID を送信する。このユーザ ID を受信したオペレータ用端末装置 1 2 2 0 では、オペレータが受信したユーザ ID と同一のユーザ ID でプッシュ共有サーバ 2 1 0 0 にログインする（ステップ 3 3 0 1）。

#### 【 0 1 3 6 】

そして、プッシュ共有サーバ 2 1 0 0 では、顧客管理部 2 1 3 0 がログインして来たユーザ ID と同一のユーザ ID と関連付けられている差分通知コマンドを検索する。この検索した差分通知コマンドを、記憶部 2 1 6 0 に記憶された順（時系列）にオペレータ用端末装置 1 2 2 0 に送信する（ステップ 3 3 0 2）。このように、記憶 2 1 6 0 に記憶された順に差分通知コマンドを送信することで、オペレータ用端末装置 1 2 2 0 上に Web ページが表示された後、その Web ページ上の部品が順次表示されるようになる。

#### 【 0 1 3 7 】

一方、プッシュ共有サーバ 2 1 0 0 からの差分通知コマンドを受信したオペレータ用端末装置 1 2 2 0 では、最初に受信した差分通知コマンドに従って、Web ページを表示する（ステップ 3 3 0 3）。

#### 【 0 1 3 8 】

そして、オペレータ用端末装置 1 2 2 0 では、各モジュールがオペレータ用端末装置 1 2 1 0 で追加した共有スクリプトと同様の共有スクリプトをコンテンツフレームのスクリプトに追加する（ステップ 3 3 0 4）。

#### 【 0 1 3 9 】

更に、オペレータ用端末装置 1 2 2 0 は、プッシュ共有サーバ 2 1 0 0 から順次送信されて来る差分通知コマンドに基づいて、Web ページ上の部品を表示さ

れる (ステップ 3 3 0 5)。

#### 【0 1 4 0】

このようにして、既に通信中の顧客用端末装置 1 2 3 0 とオペレータ用端末装置 1 2 1 0 とに表示されている Web ページの同期を取る。

#### 【0 1 4 1】

尚、本実施の形態では、新たにオペレータが加わる場合について説明したが、この場合に限るものではない。例えば、顧客が新たに加わる場合、上述したロジックを用いることで、複数の顧客用端末装置とオペレータ用端末装置とで Web ページを共有することができる。

#### 【0 1 4 2】

第 3 の実施の形態について説明する。

#### 【0 1 4 3】

第 3 の実施の形態は、共有関係にある端末装置間において、各端末装置の画面に共有ポインタを表示させ、又各画面上で自由に描画することを特徴とする。

#### 【0 1 4 4】

尚、第 1 の実施の形態のプッシュ共有サーバと同様な構成については同じ符号を付し、詳細な説明は省略する。また、オペレータ用端末装置 1 2 1 0, 1 2 2 0 と顧客用端末装置 1 2 3 0, 1 2 4 0 との制御フレームに組み込まれているモジュールは同一であることから、以下の説明では、オペレータ用端末装置 1 2 1 0、顧客用端末装置 1 2 3 0 の制御フレームに組み込まれているモジュールについて説明する。

#### 【0 1 4 5】

図 2 0 は顧客用端末装置の制御フレームに組み込まれているモジュールを説明する為の図である。図 2 1 はオペレータ用端末装置の制御フレームに組み込まれているモジュールを説明する為の図である。

#### 【0 1 4 6】

描画スクリプト追加モジュール 2 4 7 0, 2 5 7 0 は、コンテンツフレーム 2 2 1 0, 2 3 2 0 の Web ページ上に表示させる共有ポインタ及び自由描画に必要なタグセットをコンテンツフレーム 2 2 1 0, 2 3 2 0 に組み込むものであ

る。

#### 【0 1 4 7】

続いて、上記構成における動作について説明する。

#### 【0 1 4 8】

尚、以下の説明では、オペレータ用端末装置 1 2 1 0 と顧客用端末装置 1 2 3 0 との Web ページが、既に共有関係にあるものとして説明する。

#### 【0 1 4 9】

顧客が顧客用端末装置 1 2 3 0 のコンテンツフレーム 2 2 1 0 上で共有ポインタを表示させたい場合や描画を行いたい場合、顧客は制御フレーム 2 2 3 0 から共有ポインタ又は描画の指示を行なう。

#### 【0 1 5 0】

これにより、顧客用端末装置 1 2 3 0 では、描画スクリプト追加モジュール 2 4 7 0 がコンテンツフレーム 2 2 1 0 に、自端末装置 1 2 3 0 とオペレータ用端末装置 1 2 1 0 との間で共有できるポインタ及び自由に描画する為に必要なタグセットを組み込む。例えば、描画スクリプト追加モジュール 2 4 7 0 は、図 2 2 に示す、両端末装置で自由に描画を可能にするタグセット(スクリプト)と、両端末装置で共有する為の共有ポインタのタグセット(スクリプト)とをコンテンツフレーム 2 2 1 0 に追加する。

#### 【0 1 5 1】

更に、描画スクリプト追加部 2 4 7 0 は、追加したタグセットと同一のタグセットを追加するよう指示する差分通知コマンドを、プッシュ共有サーバ 2 1 0 0 を介してオペレータ用端末装置 1 2 1 0 に送信する。

#### 【0 1 5 2】

プッシュ共有サーバ 2 1 0 0 を介して差分通知コマンドを受信したオペレータ用端末装置 1 2 1 0 では、描画スクリプト追加部 2 5 7 0 がコンテンツフレーム 2 3 2 0 に、顧客用端末装置 1 2 3 0 で追加したタグセットと同一のタグセットを追加する。

#### 【0 1 5 3】

ここで、顧客により顧客用端末装置 1 2 3 0 上の共有ポインタがクリックされ

ると、図 22 に示す、ShareIconMouseDown関数が呼び出され、共有ポインタの移動位置がオペレータ用端末装置のコンテンツフレーム 2320 に通知される。

#### 【0154】

これにより、顧客用端末装置 1230 とオペレータ用端末装置 1210 とでポインタが共有できる。更に、顧客用端末装置 1230 のコンテンツフレーム 2210 で描画した図と同一の図が、オペレータ用端末装置のコンテンツフレーム 2320 に表示される。

#### 【0155】

尚、第 1 ～ 第 3 の本実施の形態では、顧客管理部 2110、代行通信部 2120、顧客管理部 2130、オペレータ管理部 2140、及び振分部 2150 をプッシュ共有サーバ 2100 の部材として説明したが、この場合に限るものではない。例えば、各部をモジュールとし、デジタル信号処理プロセッサ等のコンピュータ制御で実現するようにしても良い。

#### 【0156】

また、コンテンツ更新管理モジュール、通信モジュール、入力フォーム共有スクリプト追加モジュール、Web 操作同期スクリプト追加モジュール、イベント同期スクリプト追加モジュール、URL 遷移監視スクリプト追加モジュール、描画スクリプト追加モジュール、リンク先書換モジュールは、デジタル信号処理プロセッサで動作するプログラムとして説明したが、この場合に限るものではない。例えば、各モジュールを顧客用端末装置及びオペレータ用端末装置の部材として構成するようにしても良い。

#### 【0157】

##### 【発明の効果】

本発明によれば、端末装置間で共有対象となる Web ページ（コンテンツ）を共有用に作り込まずに、端末装置間でリアルタイムに Web ページを共有することができるという優れた効果を奏する。

その理由は、端末装置間で共有対象となる Web ページが更新される毎に、全端末装置のコンテンツフレームに、Web を共有する為のスクリプトを組み込むことができるからである。



## 【0158】

また、本発明によれば、既存のサービスからリアルタイムにWebページを共有するサービスへスムーズに移行することができるという優れた効果を奏する。

その理由は、Webページの更新内容を通知する差分通知コマンドをサーバで管理し、この差分通知コマンドをサーバが端末装置に送信するようにしたからである。

## 【図面の簡単な説明】

## 【図1】

リアルタイムWeb共有システムのブロック図である。

## 【図2】

プッシュ共有サーバのブロック図である。

## 【図3】

差分通知コマンドの構成を説明する為の図である。

## 【図4】

顧客用端末装置の制御フレームに組み込まれているモジュールを説明する為の図である。

## 【図5】

オペレータ用端末装置の制御フレームに組み込まれているモジュールを説明する為の図である。

## 【図6】

差分通知コマンドの生成関数を説明する為の図である。

## 【図7】

登録関数を説明する為の図である。

## 【図8】

差分通知コマンドの実行関数を説明する為の図である。

## 【図9】

顧客がオペレータを呼び出す動作を説明する為のフローチャートである。

## 【図10】

Webの共有を実行中の動作を説明する為のフローチャートである。

**【図 1 1】**

画面の遷移を表す図である。

**【図 1 2】**

顧客用端末装置における画面のイメージ図である。

**【図 1 3】**

オペレータ用端末装置における送信待ち画面のイメージ図である。

**【図 1 4】**

顧客用端末装置における応答待つ画面のイメージ図である。

**【図 1 5】**

オペレータ用端末装置における着信画面のイメージ図である。

**【図 1 6】**

オペレータ用端末装置における通話画面のイメージ図である。

**【図 1 7】**

顧客用端末装置における W e b ページの共有画面のイメージ図である。

**【図 1 8】**

オペレータ用端末装置における W e b ページの共有画面のイメージ図である。

**【図 1 9】**

新たなオペレータが加わる場合の動作を説明する為のフローチャートである。

**【図 2 0】**

顧客用端末装置の制御フレームに組み込まれているモジュールを説明する為の図である。

**【図 2 1】**

オペレータ用端末装置の制御フレームに組み込まれているモジュールを説明する為の図である。

**【図 2 2】**

画像スクリプトを説明する為の図である。

**【符号の説明】**

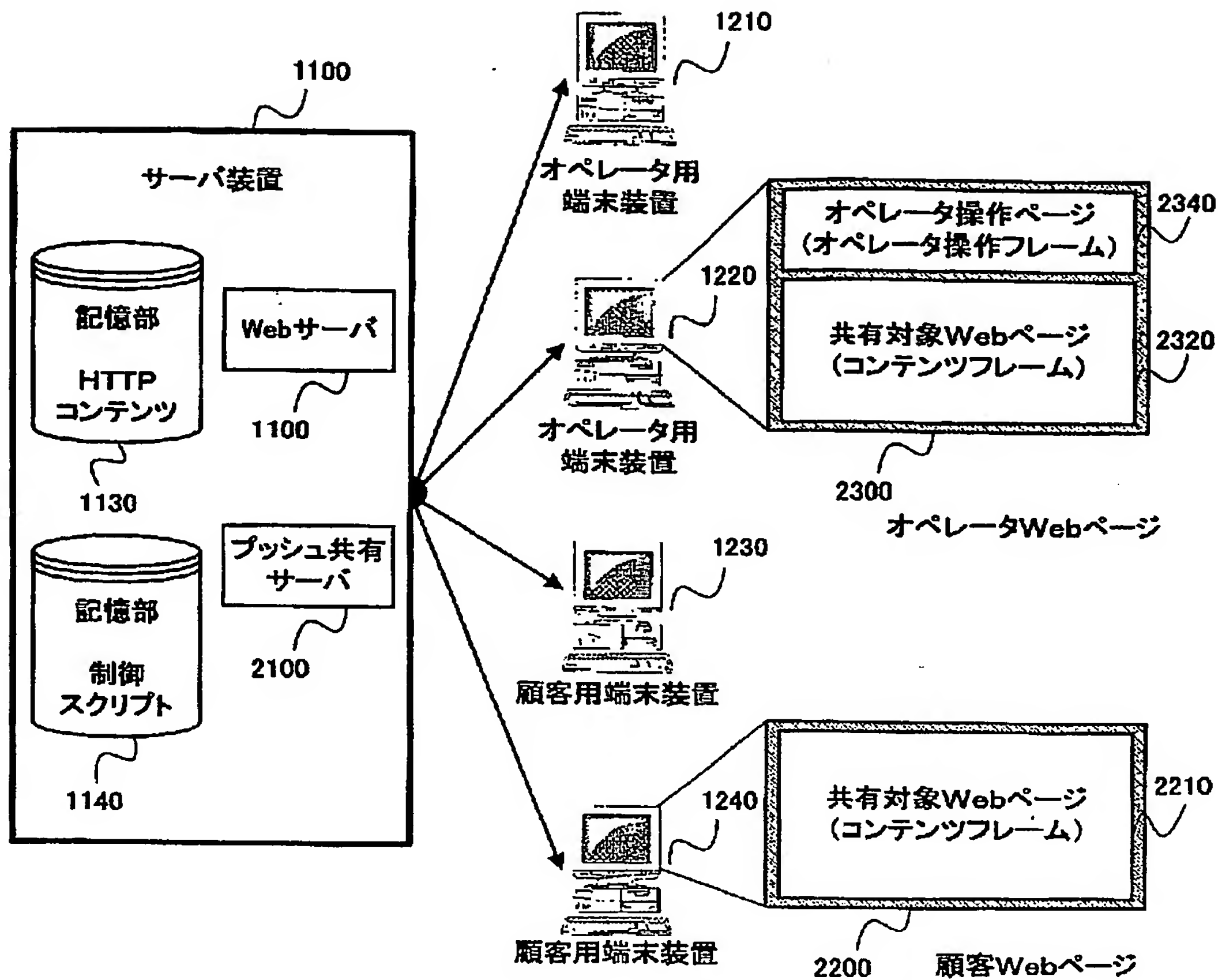
1 1 0 0    W e b サーバ

2 1 0 0    プッシュ共有サーバ

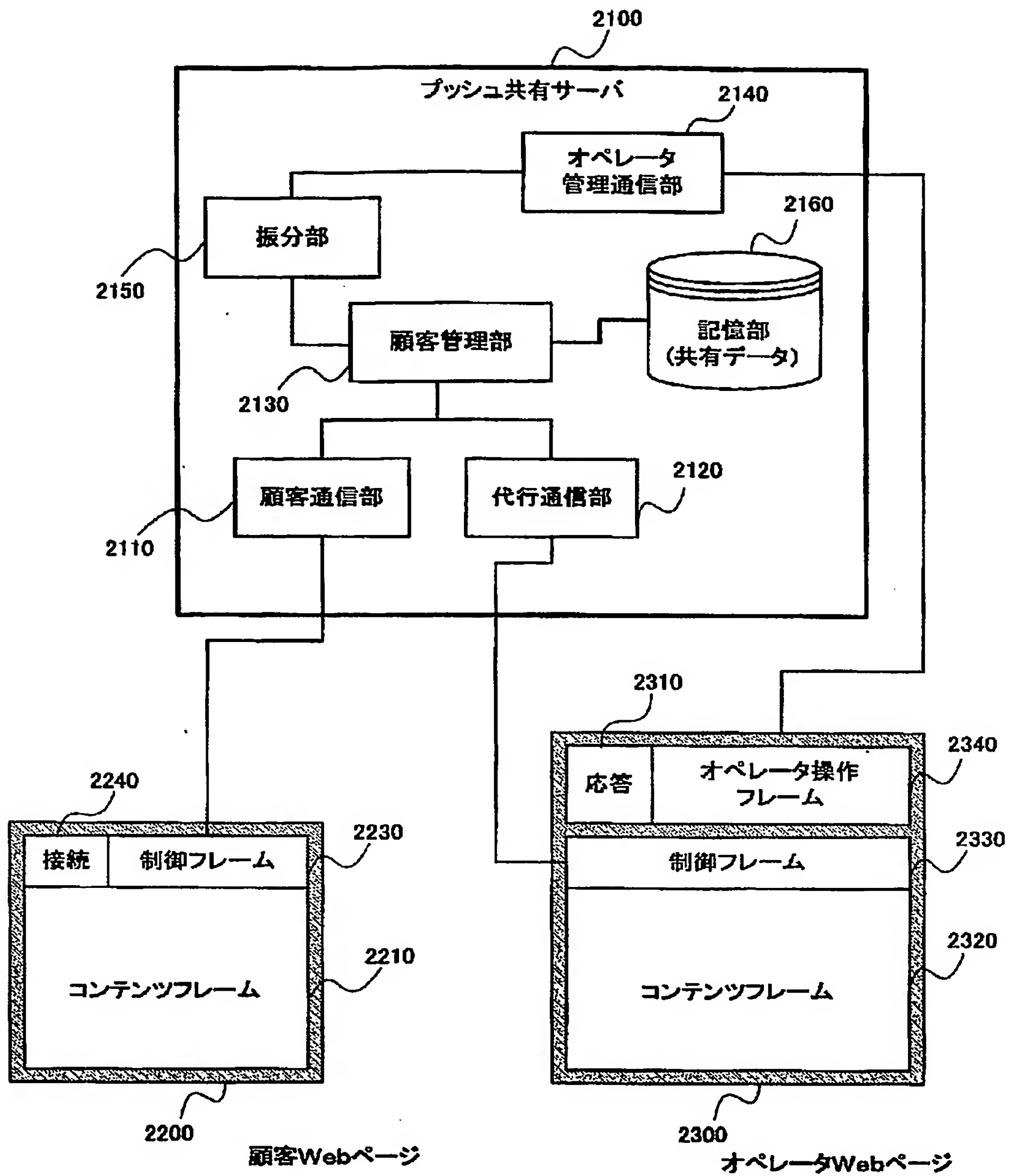
2110 顧客通信部  
2120 代行通信部  
2130 顧客管理部  
2140 オペレータ管理通信部  
2150 振分部  
2160 記憶部  
1210, 1220 オペレータ用端末装置  
1230, 1240 顧客用端末装置  
2410, 2510 コンテンツ更新監視モジュール  
2420, 2520 通信モジュール  
2430, 2530 入力フォーム共有スクリプト追加モジュール  
2440, 2540 Web操作同期スクリプト追加モジュール  
2450, 2550 イベント同期スクリプト追加モジュール  
2460, 2560 URL遷移監視スクリプト追加モジュール  
2470, 2570 リンク先書換モジュール

【書類名】 図面

【図1】

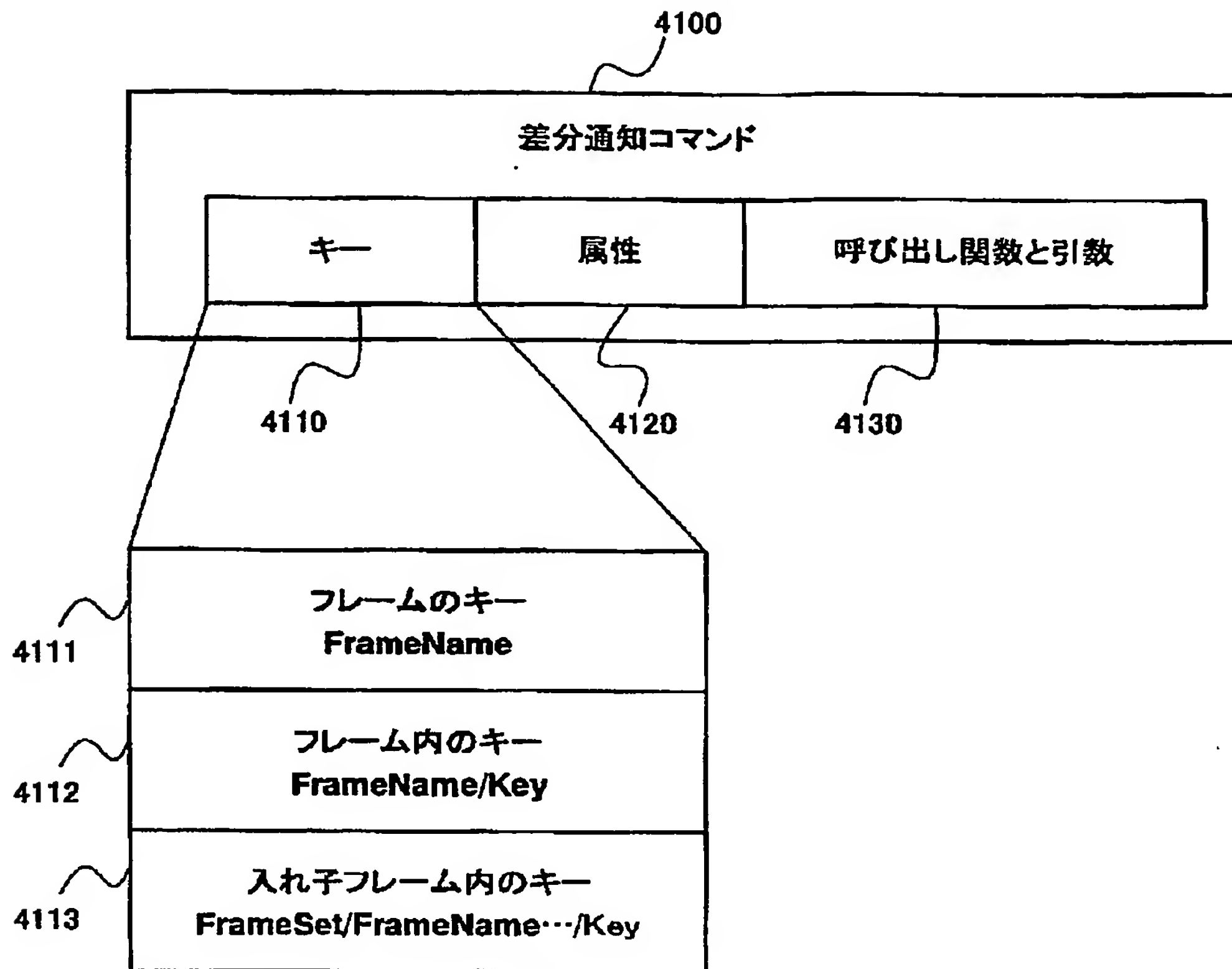


【図 2】

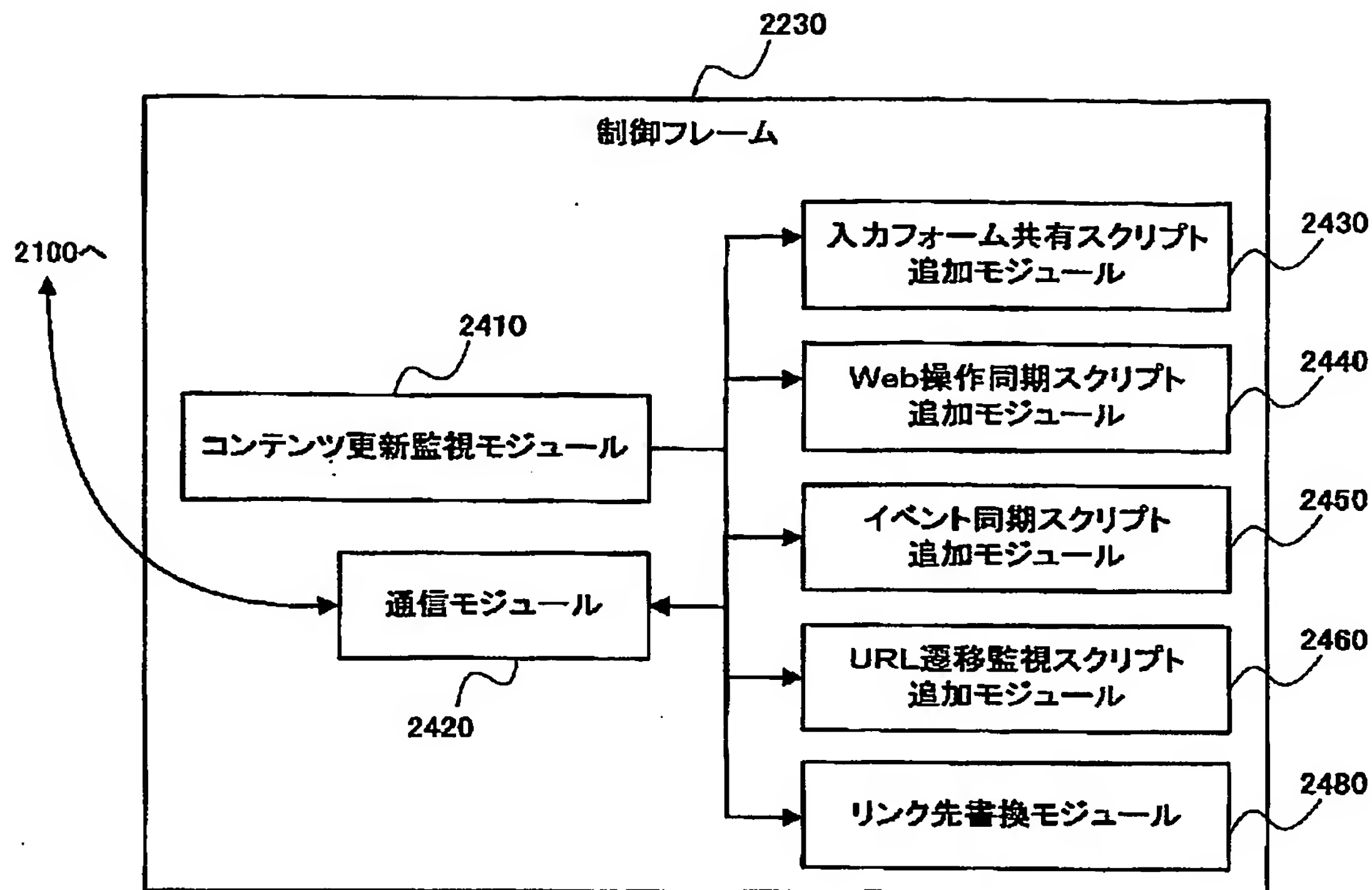




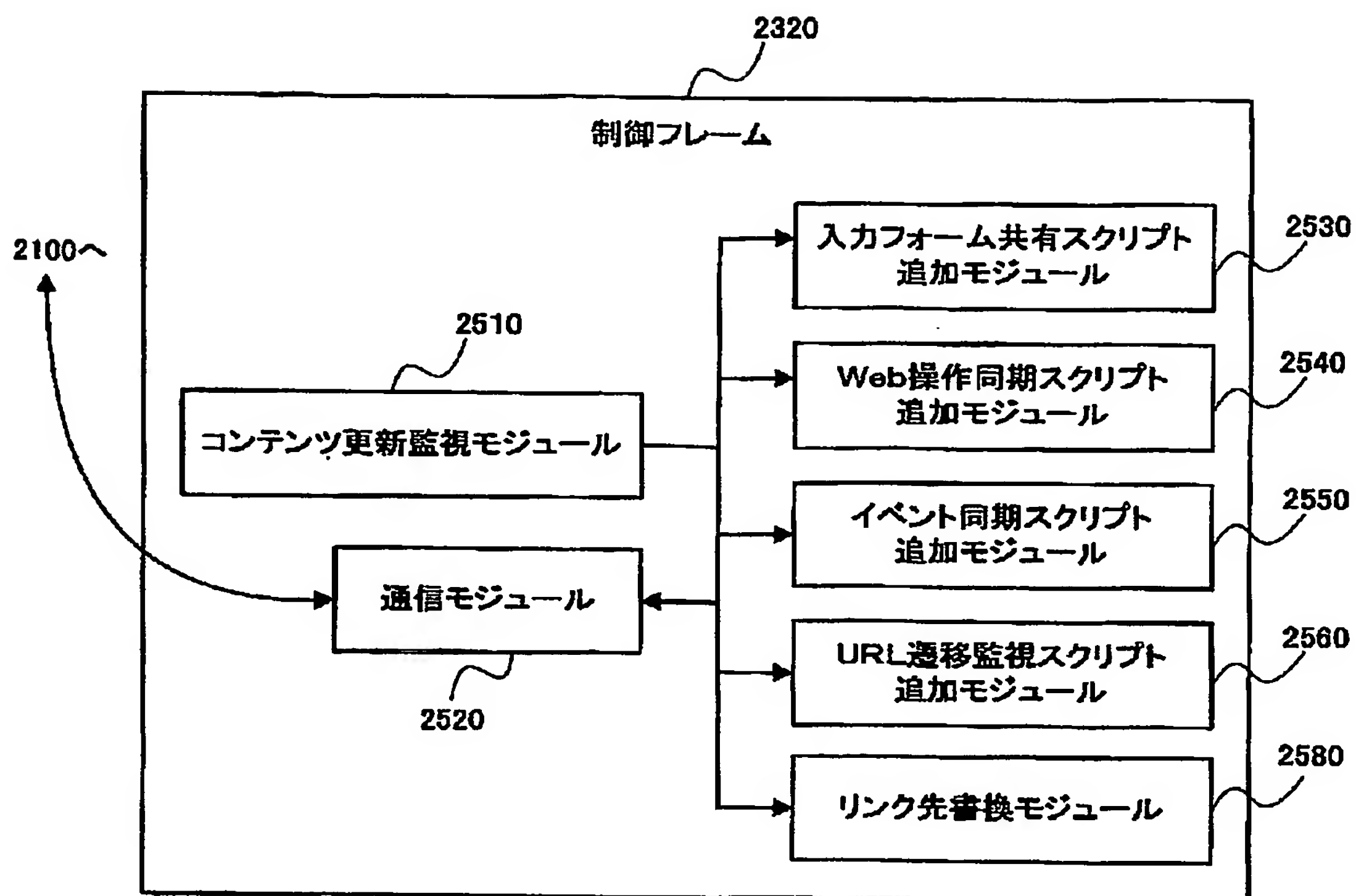
【図 3】



【図 4】



【図 5】



【図 6】

```
function OnSharePost( tagId)
{
    if (bStopFlag == true){
        return true;
    }

    parent.frames[' Header' ].oldUrl="";
    parent.frames[' Header' ].bSet=false;
    strEval = "DoSharePost(' "+tagId+"')";
    parent.frames[' Header' ].ClientAction
        (' EVAL;1;UriPush;' +strEval+' ');
    return true;
}
```

差分通知コマンドの生成関数

【図 7】

```
function ChangeSubmit( elm, tagId)
{
    re = new RegExp("OnSharePost", "i");
    tagId = "../UrlPush/" + tagId;
    var funcNew =
        "(parent.frames['Header'].OnSharePost(' " + tagId + " '))";
    var func = funcNew;
    var prefunc = new String(elm.getAttribute(' onsubmit' ));
    if (prefunc != "null"){
        if (prefunc.search(re) == -1 ){
            func = prefunc + "anonymous( );" + func;
        }else{
            return:
        }
    }
    func = new Function (func);
    elm.onsubmit = func;
}
```

差分通知コマンドの生成関数をフック関数として登録する登録関数

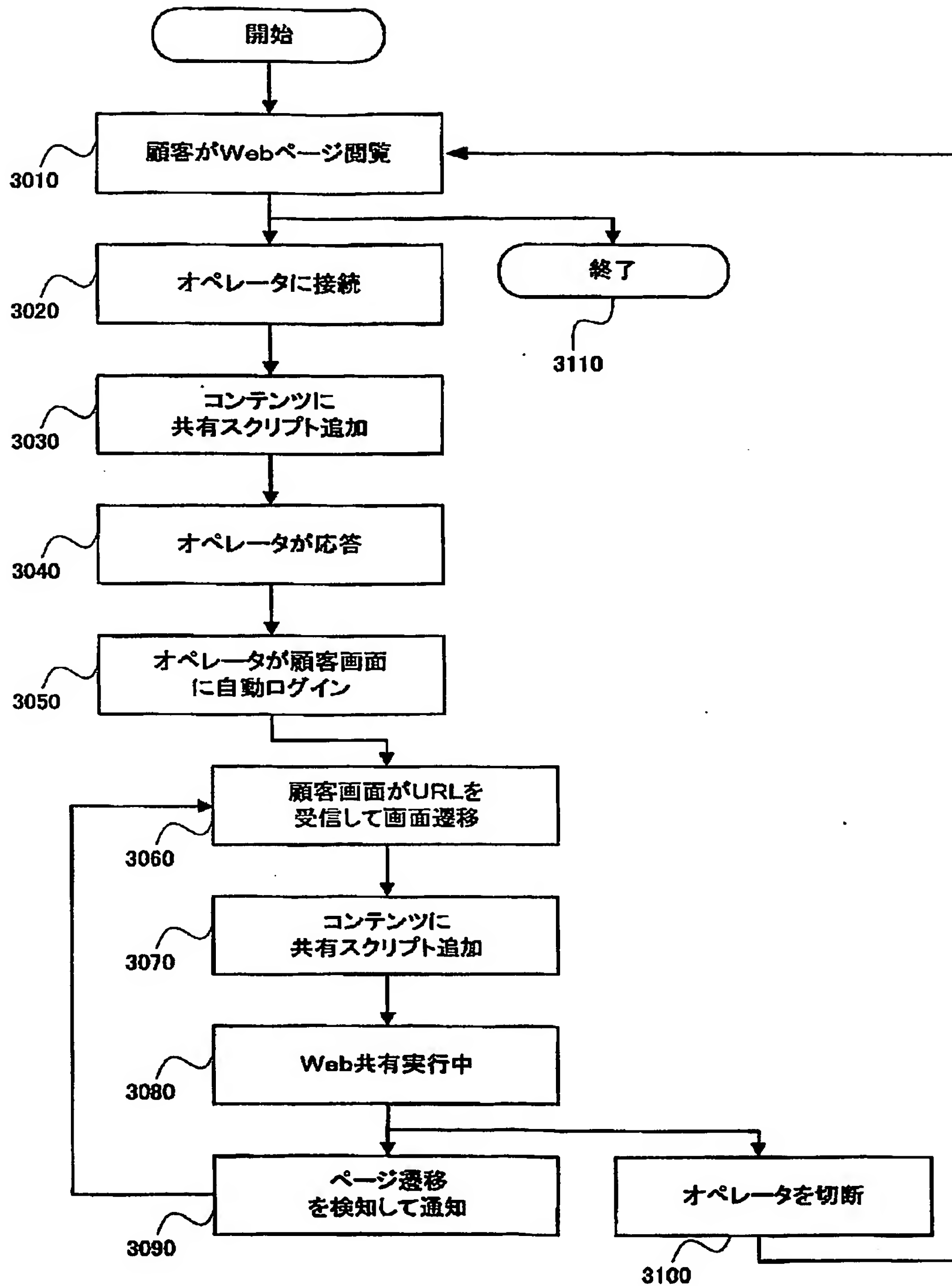


【図 8】

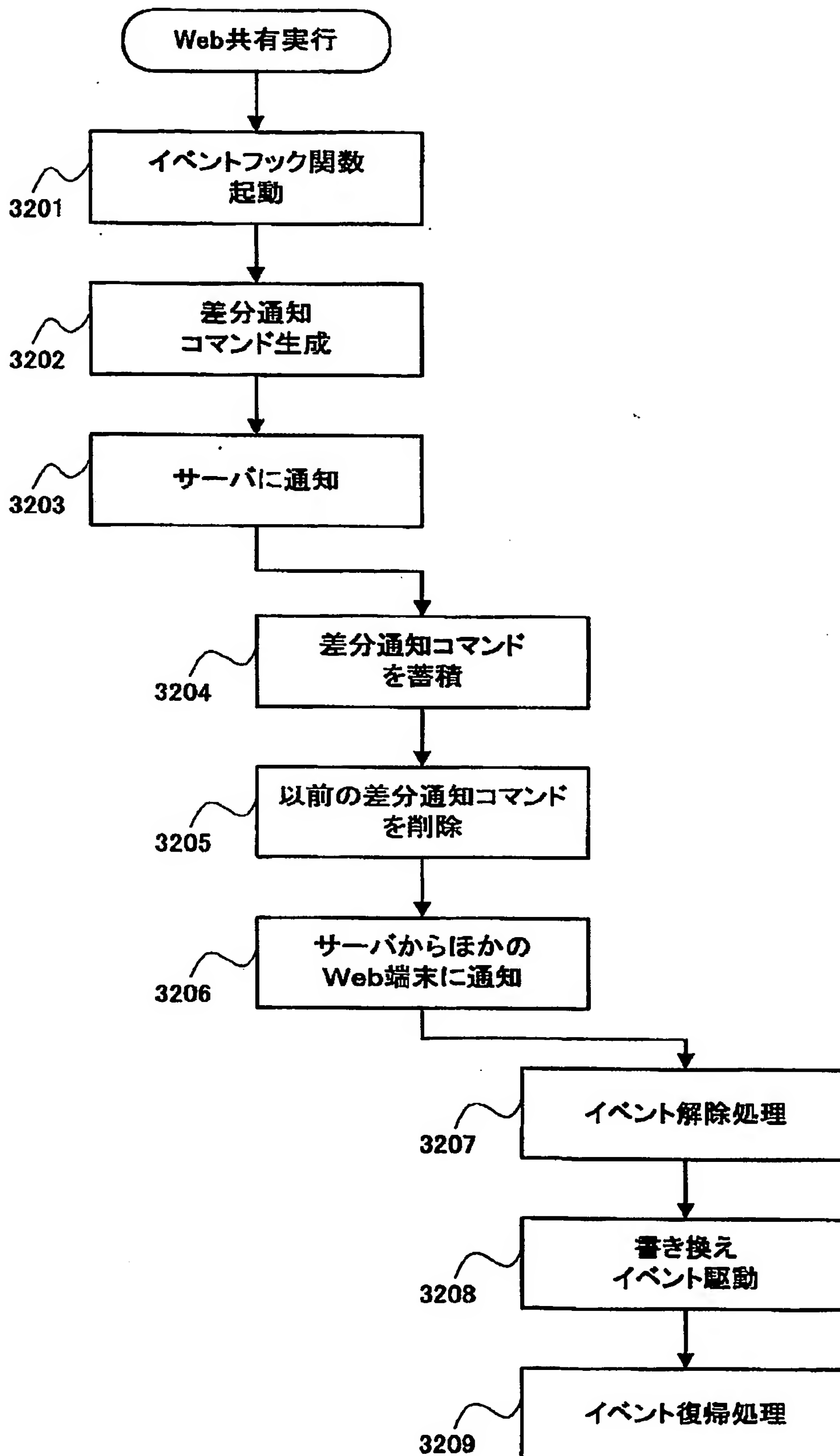
```
function DoSharePost(tagId)
{
    target = FindElement(tagId);
    if (target == null){
        return :
    }
    bStopFlag = true:
    target.submit():
    bStopFlag = false:
    bSet=false:
}
```

差分通知コマンドの実行関数

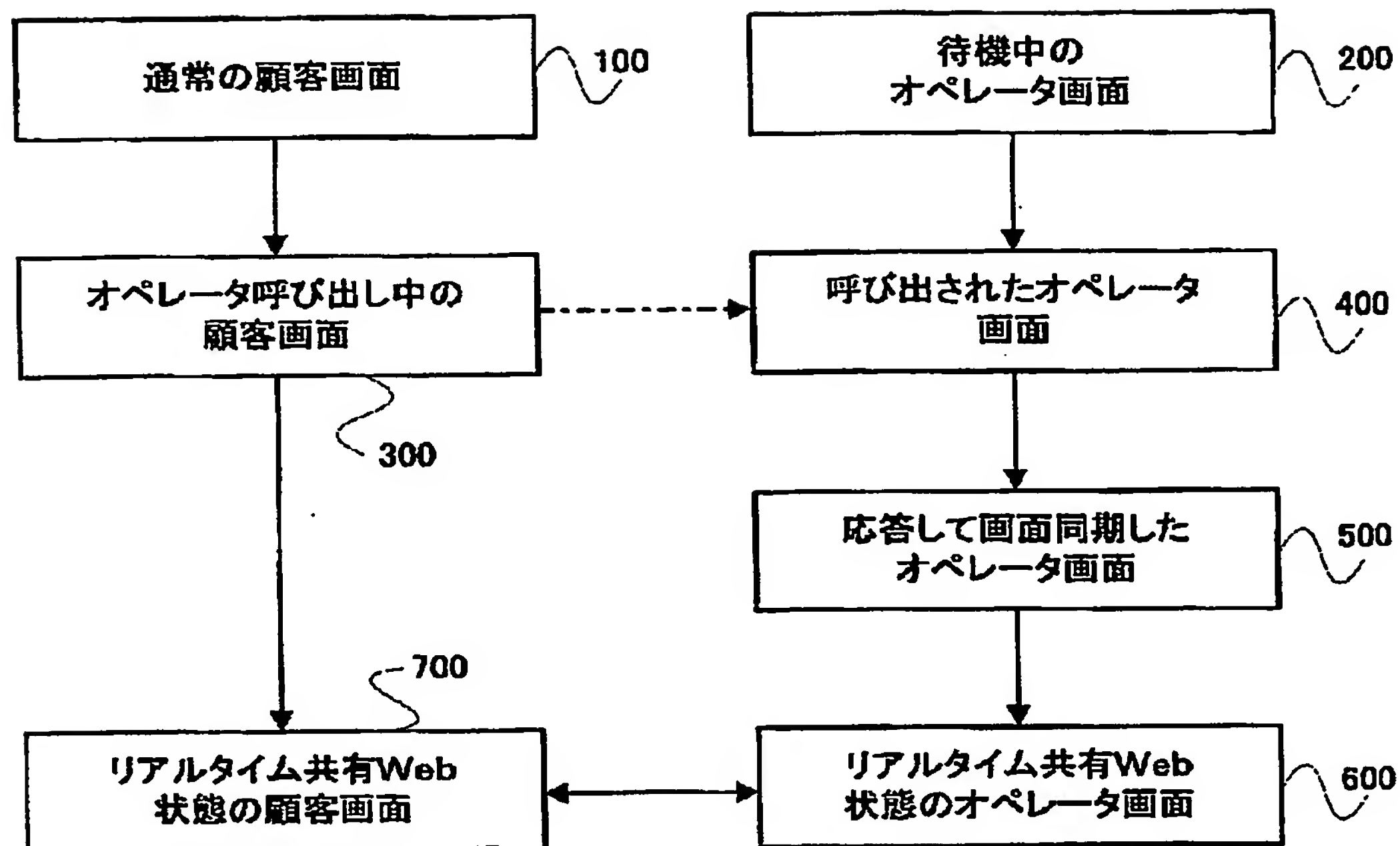
【図 9】



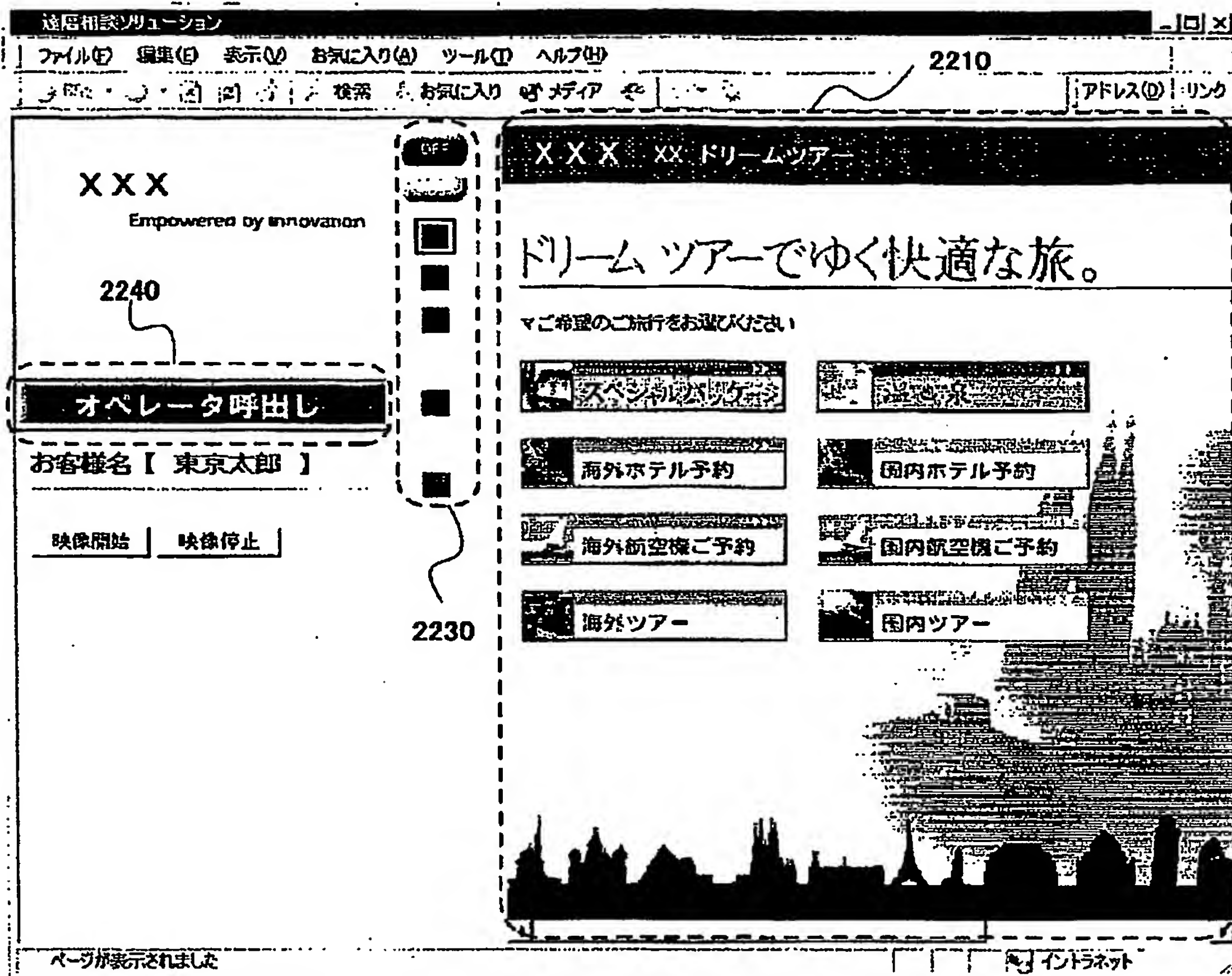
【図 10】



【図 11】

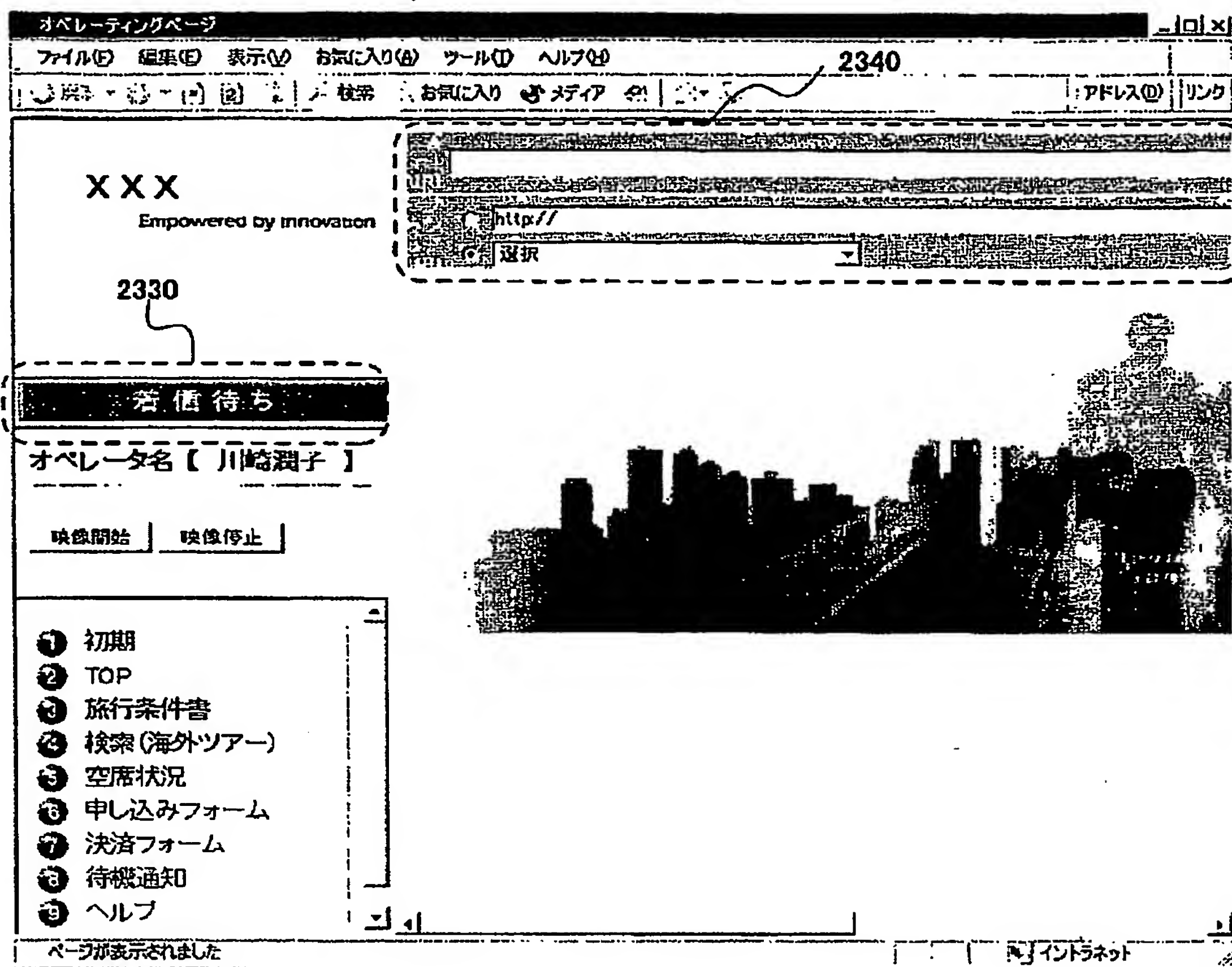


【図 12】

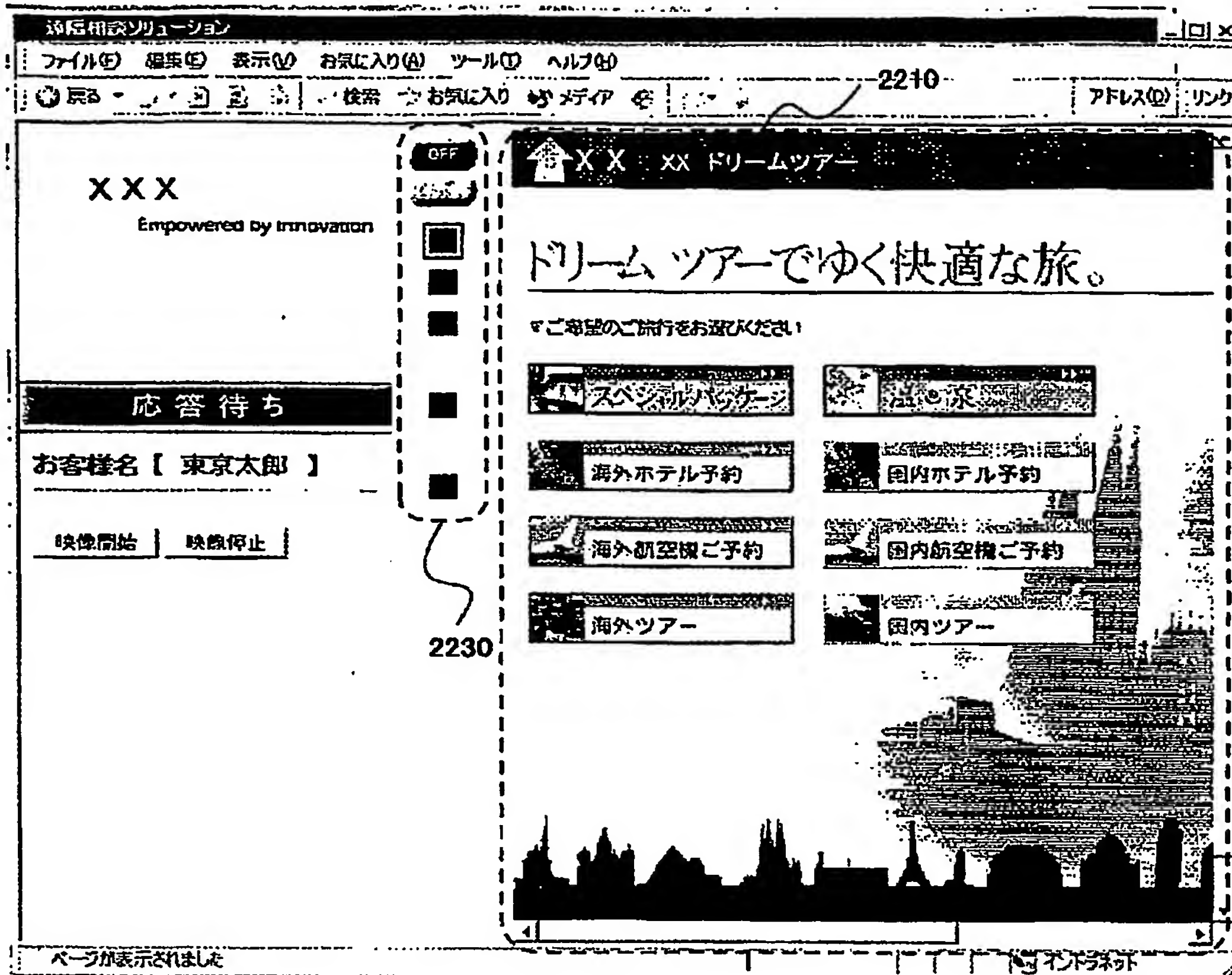




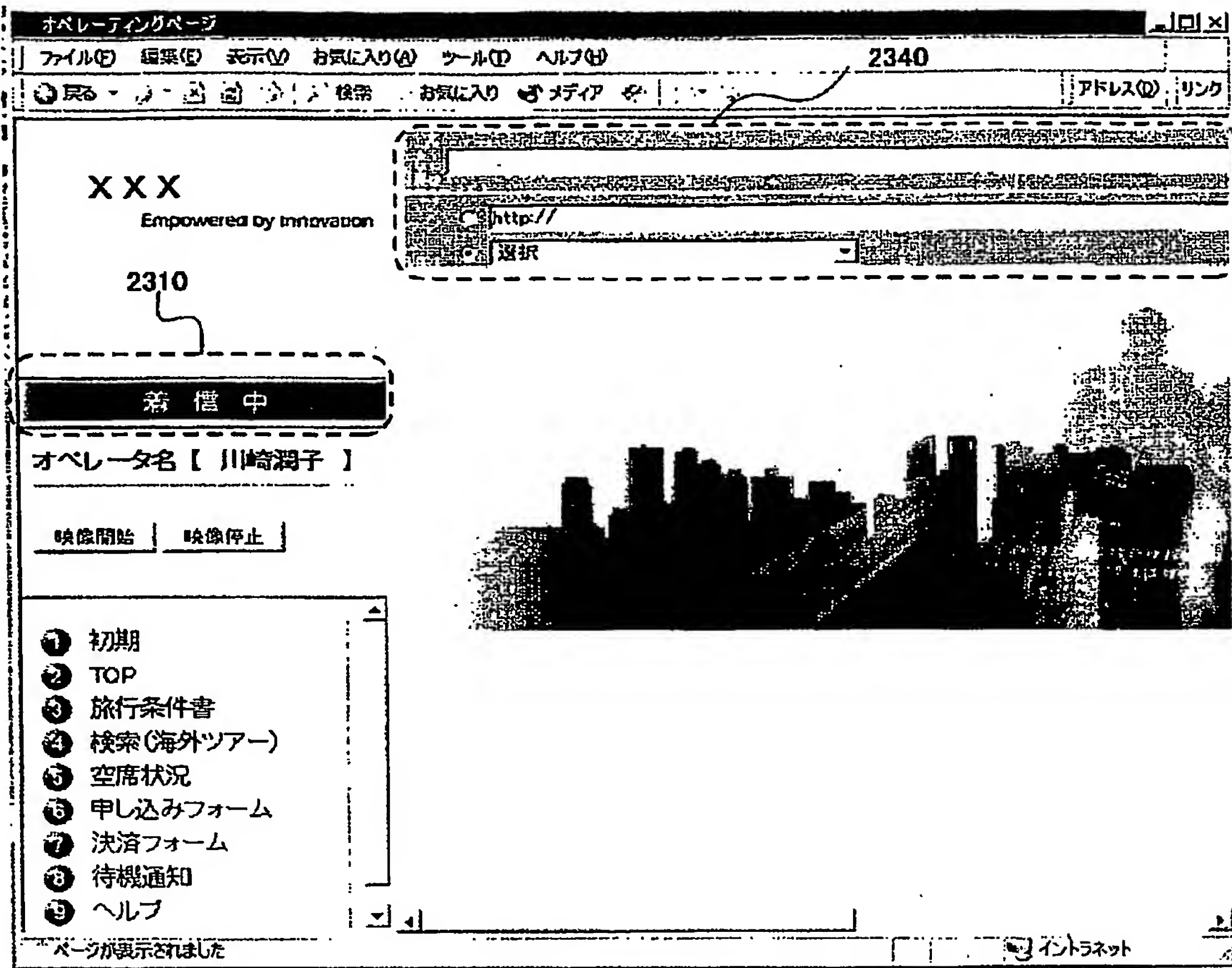
【図 13】



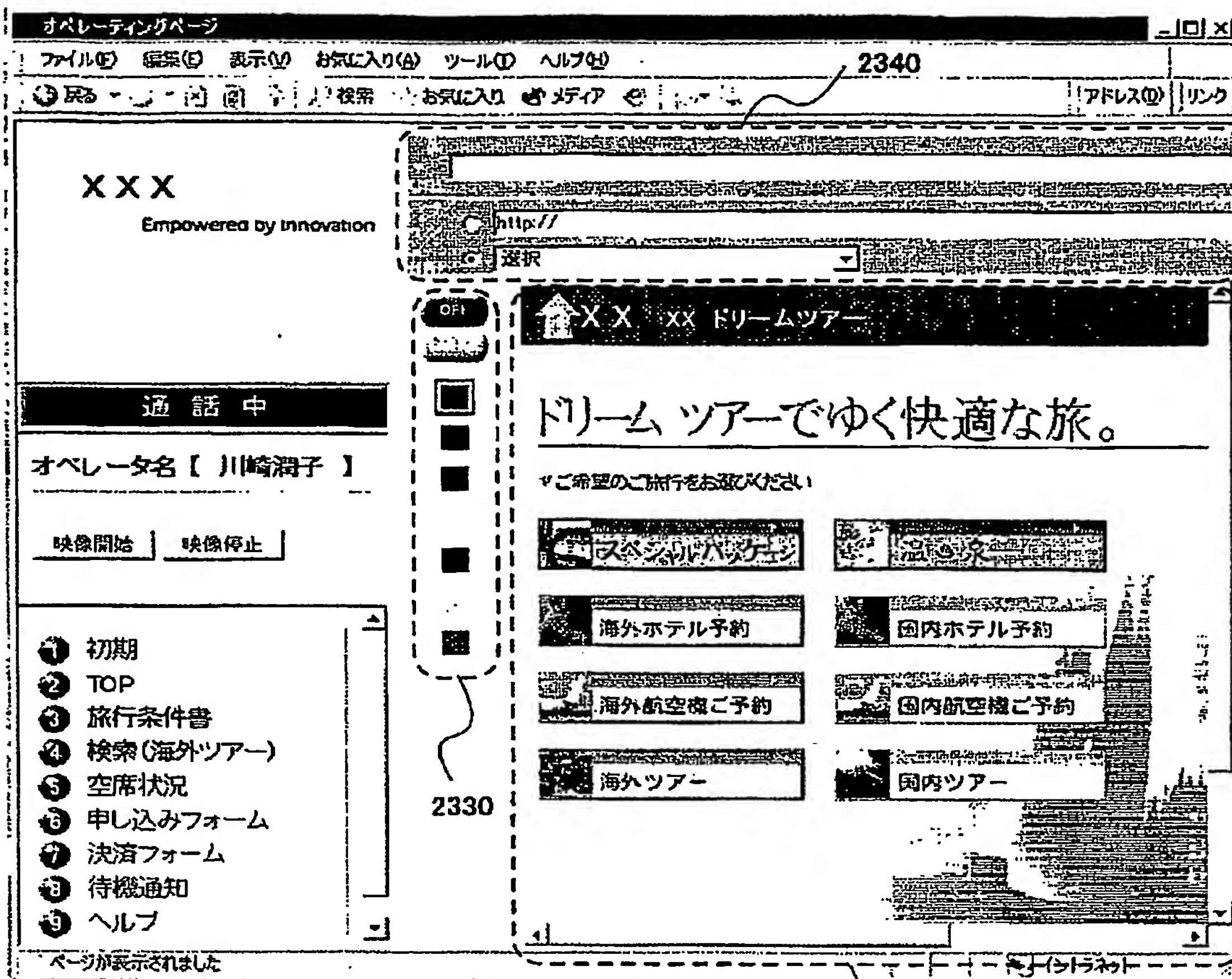
【図 14】



【図 15】



【図 16】



【図 17】



【図18】

オペレーティングページ

ファイル(F) 編集(E) 表示(V) お気に入り(A) ツール(T) ヘルプ(H)

戻る 進む 印刷 検索 お気に入り メディア アドレス リンク

2340

XXX

Empowered by innovation

通話中

オペレータ名【川崎潤子】

映像開始 映像停止

- 1 初期
- 2 TOP
- 3 旅行条件書
- 4 検索(海外ツアー)
- 5 空席状況
- 6 申し込みフォーム
- 7 決済フォーム
- 8 待機通知
- 9 ヘルプ

ページが表示されました

http://

選択

現在お勧めしているスペシャルパッケージツアーです。

地域(出発地) ... すすのバック アジア...アジア ヨーロッパ...ヨーロッパ アメリカ...アメリカ  
目的(目的地) ... スキー...スキー...スキー...タイピング...タイピング...タイピング...

アジア

夢トラベル<タイ>

詳細 「バンコク4日間(デイトライト/スターライト)」 「チェンマイ・バンコク6日間」  
「プーケット5/6日間」

期間 東京発着 2002年4月~9月設定

ヨーロッパ

夢トラベル<ヨーロッパ>

詳細 「スペイン6/7日間」

期間 東京・大阪発着 2002年10月~12月設定

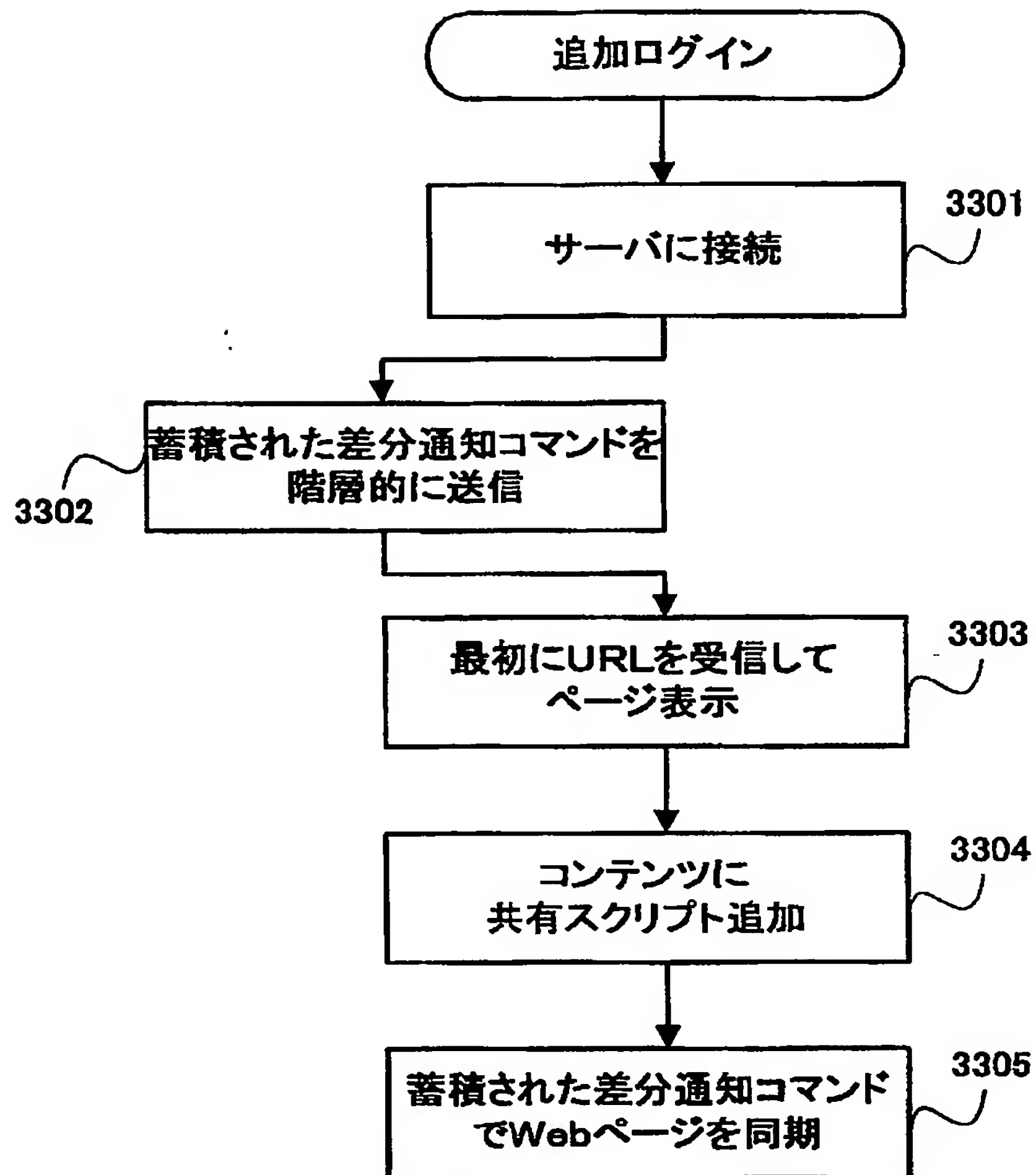
ハワイ

夢トラベル<ハワイ>

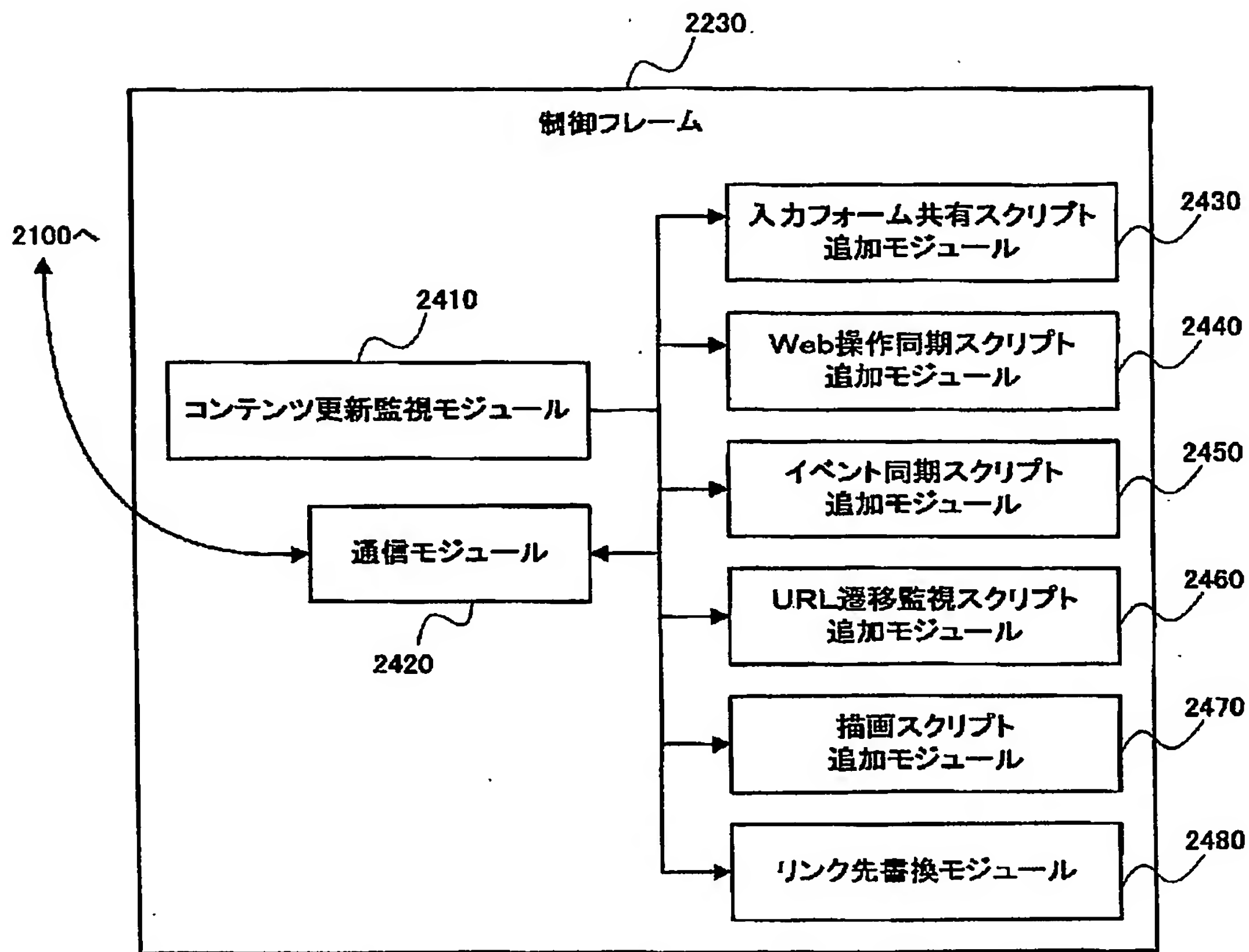
詳細 「ハワイ5/6日間」

2310

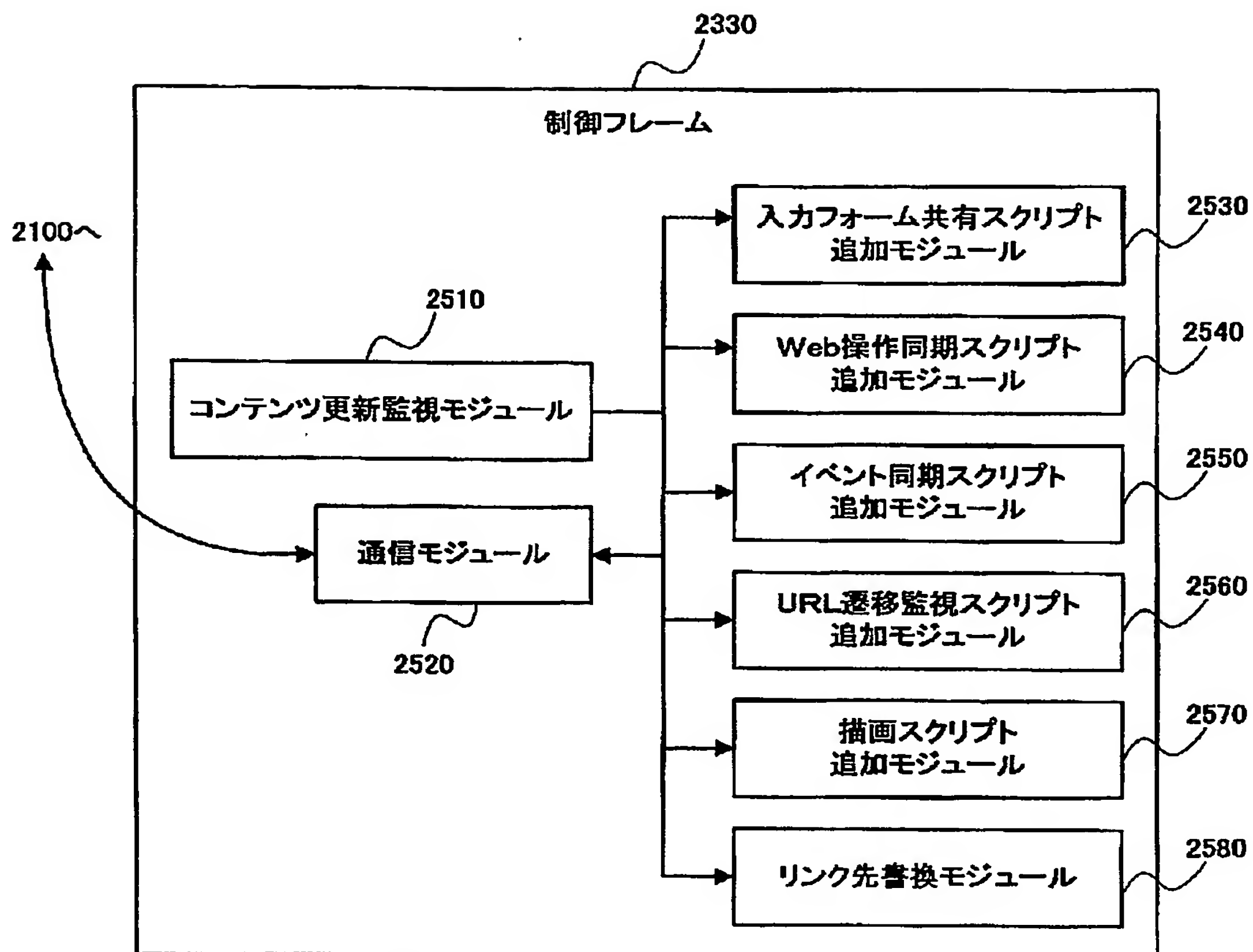
【図 19】



【図 20】



【図 21】



【図 22】

```
htmltag=doc.all.tags('HTML')(0);
htmltag.setAttribute('xmlns:v','urn:schemas-microsoft-com:vml', false);
bodytag=doc.all.tags('BODY')(0);
divtag = doc.createElement('DIV');
divtag.innerHTML = '<FONT><BR></FONT><style>v\:* { behavior: url(#default#VML);
}</style>';
bodytag.appendChild(divtag);
// 以上の処理でコンテンツフレームを描画可能にする
// この処理で、すべてのVMLで記述されるタグを追加描画することが可能となる

divicontag = doc.createElement('DIV');
divicontag.innerHTML = "<SPAN ID='F00003' STYLE='position:absolute; top:5; left:5;'
onMouseDown =
\"parent.frames['Header'].ShareIconMouseDown('../UriPush/F00003','F00003',event)\
\"><IMG SRC='"+strPointerUrl+"' ALT='共有ポインタ
'></SPAN>";
bodytag.appendChild(divicontag);
// 以上の処理で共有ポインタを追加する
//マウスをクリックするとShareIconMouseDownが呼び出される。
```

描画スクリプト

【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 コンテンツの作り込みを必要とせずに、従来のブラウザのユーザインタフェースのみを作り込むだけでリアルタイムにWebページの共有を実現する技術を提供すること。

【解決手段】 顧客は、顧客用端末装置 1 2 3 0 上の接続ボタン 2 2 4 0 を押下する。これにより、オペレータ用端末装置への接続要求がプッシュ共有サーバ 2 1 0 0 を介してオペレータ用端末装置 1 2 1 0 に通知される。この通知を受けたオペレータ用端末装置 1 2 1 0 では、応答ボタン 2 3 1 0 が着信中に変化させる。オペレータにより、オペレータWebページ 2 3 0 0 上の応答ボタン 2 3 1 0 を押下されると、プッシュ共有サーバ 2 1 0 0 からオペレータ用端末装置に差分通知コマンドが送信され、オペレータ用端末装置 1 2 1 0 上には、顧客用端末装置 1 2 3 0 上のWebページと同一のWebページが表示される。

【選択図】 図 1



認定・付加情報

特許出願の番号	特願 2002-343721
受付番号	50201792752
書類名	特許願
担当官	末武 実 1912
作成日	平成14年11月28日

<認定情報・付加情報>

【提出日】 平成14年11月27日

次頁無

特願 2 0 0 2 - 3 4 3 7 2 1

出 願 人 履 歷 情 報

識別番号

[ 0 0 0 0 0 4 2 3 7 ]

1. 変更年月日

1 9 9 0 年 8 月 2 9 日

[変更理由]

新規登録

住 所

東京都港区芝五丁目 7 番 1 号

氏 名

日本電気株式会社

**This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning  
Operations and is not part of the Official Record**

**BEST AVAILABLE IMAGES**

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

- ☐ **BLACK BORDERS**
- ☐ **IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES**
- ☐ **FADED TEXT OR DRAWING**
- ☐ **BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING**
- ☐ **SKEWED/SLANTED IMAGES**
- ☐ **COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS**
- ☐ **GRAY SCALE DOCUMENTS**
- ☐ **LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT**
- ☐ **REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY**
- ☐ **OTHER:** \_\_\_\_\_

**IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.**

**As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.**